

はじめに

岐阜県博物館は、昭和51年5月岐阜県百年公園内に、総合博物館として開館しました。以来、岐阜県に関わりがある人文、自然についての資料収集・整理・分類・保存、調査研究を重ね、その成果を常設展示、特別展示、資料紹介展示及び関連した講演会、観察会などの諸事業を通して広く県民への普及を図ってまいりました。平成7年7月にはマイ・ミュージアム棟が増設されて、マイミュージアムギャラリー他、ハイパーハイビジョン風上記「ひだ・みの紀行」や、ハイビジョン静止画制作システムなどの情報機器も整備され「であい楽しい情報ステーション」をキーワードに参加体験機能を持つ博物館として拡充発展してまいりました。

平成11年度の夏の特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」では、中日新聞の共催を得て、モンゴルの国宝級といわれている世界唯一の恐竜格闘化石やダチョウ恐竜、ヨロイ竜など、恐竜の実物全身骨格と岐阜県から北陸地方にかけて広がる手取層群から発見された恐竜化石や多くの重要な化石を比較展示することができました。展示期間中に開催したモンゴル科学アカデミー古生物学センター所長のリンチェン・パルスボルド氏や福井県立博物館総括学芸員の東洋一氏の講演は、多くの熱心な聴衆を魅了しました。また、「化石をつくろう」や「恐竜ナイトツアー」などの催しものもたいへん好評で、親子連れなどを中心に特別展はじまって以来の来館者を記録することができました。

秋の特別展「水とまつり～古代人の祈り～」は、近年の古代遺跡の調査研究の成果をもとに、水にかかわる古代の祭祀や信仰のようすを、岐阜県下をはじめ東海・近畿地方などにおいて出土した土器類、土製品、石製品、木製品など豊富な資料から解き明かそうとしたもので、考古ファンをはじめとする多くの方々に高い評価をいただくことができました。また、岐阜県立岐南工業高等学校、岐阜県立加茂農林高等学校、岐阜県立多治見工業高等学校の生徒のみなさんに製作していただいた、ハンズオン用の復元資料は本物同様の手ざわりを確かめることのできる資料として皆様に親しんでいただくことができました。

資料紹介展「井波コレクションとスマイルの世界」、特別陳列「ふるさとの文化財紹介展～飛騨地区～」、特別陳列「ベルギー王国アントワープ市民族学博物館出展記念 円空展」、写真展「自然の中の不思議を知る～第20回SSP展～」、博物館共催で開催された岐阜県文化財保護センターの発掘速報展「いにしへの美濃と飛騨」、八回のマイミュージアムギャラリー展示につきましても、それぞれ特色ある展示となり、多くの来館者を得ることができました。

資料収集では、広重作の木曾街道六十九次の内 大久手、西浦焼吹絵鷲・輪挿花瓶など十数点、翼竜ズンガリプテルスの全身骨格複製標本（全長1.8m）、テスケロサウルスの全身骨格複製標本（全長3m）などの購入や多くの鳥類の剥製、植物標本などの寄贈、太刀などの寄託を得ることができました。また、マイミュージアムでは館蔵資料のデータベース化も進みました。

平成11年度を通観してみると、新聞社との共催で、郷土の学術的な調査研究とモンゴルの恐竜研究とを対比した「恐竜時代」や群馬県から岡山県に至る広範囲の調査研究に基づく「水とまつり」、さらにベルギー王国への出展記念の「円空展」など全国への情報発信をめざす企画展ができました。

ハンズオンなどを取り入れた参加体験型の事業も増加して、県民の皆さんに気軽に参加していただき、誰もが楽しめる博物館への前進が見られました。

平成12年度には、明治の殖産興業とヨーロッパに輸出され、珍重された焼き物を扱った夏季特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」、東濃の自然に関わる調査研究の成果を紹介する秋季特別展「すばらしき東濃の自然、再発見～巨大ヒノキが見てきた生き物たち～」、資料紹介展「はくせいほうんちしない～さるやきつねの巻～」、特別陳列「描かれた街道～国芳・広重の中山道～」、設立10周年を迎えた（財）岐阜県文化財保護センターによる特別企画「いにしへの美濃と飛騨」などの企画展をはじめ、マイミュージアムギャラリーのコレクションや作品の展示、博物館講座、講演会、たのしい博物館、自然観察会、特別行事など、合わせて84本の企画を計画しています。

ここに平成11年度の事業記録と、平成12年度の事業計画の概要を紹介する館報23号を刊行しました。ご高覧いただき、ご指導とご支援を賜りますようお願いいたします。

ふやしたいね 心の宝物

平成12年4月1日

岐阜県博物館長 遠藤 祐 神

目 次

はじめに

I 博物館概要

- 設置目的…………… 3
- 基本的性格と方針…………… 3
- 沿革…………… 4
- 施設・設備…………… 5

II 平成12年度 組織・運営

- 組織…………… 7
- 事業計画…………… 7

III 平成11年度のあゆみ

- 職員…………… 9
- 日誌抄…………… 10
- 岐阜県博物館協議会…………… 10
- 実施事業の概要…………… 11
- 特別展
 - 1 「恐竜時代」…………… 12
 - 2 「水とまつり」…………… 13
- 資料紹介展
 - 「井波コレクションとスマイルの世界」…………… 14
- 特別陳列
 - 「ふるさとの文化財紹介展」～飛騨地区～…………… 15
 - 「円空展」…………… 16
- 写真展
 - 「自然の中の不思議を知る」…………… 17
- マイミュージアムギャラリー…………… 18
- (財)岐阜県文化財保護センター速報展…………… 20
- 研究・資料収集活動
 - 自然部門…………… 21
 - 人文部門…………… 25
 - マイ・ミュージアム部門
 - 1 マルチメディア情報センター…………… 27
 - 2 マルチメディア工房…………… 28
- 教育普及活動…………… 29
- 図書資料寄贈者芳名一覧…………… 32
- 利用状況…………… 35
- 博物館関係団体…………… 35

IV 利用案内…………… 37

I 博物館概要

〔設置目的〕

岐阜県の人文、自然両分野にわたる諸資料を公開し、併せて、教育普及活動を行うことにより広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

〔基本的性格と方針〕

1 基本的性格

- ・ 岐阜県の人文（考古、歴史、民俗、美術工芸）、自然（動物、植物、地学）等に関する諸資料の収集、保管、展示、調査研究およびそれらの活用を図る総合博物館とする。
- ・ 県内外の博物館および相当施設との活発な交流を図るとともに、本県の中央博物館としての役割を果たす内容と設備を有する施設とする。
- ・ 学校教育・社会教育との密接な連携を図り、利用者が楽しく学習することができ、未来への研究心と創造性を開発させるような生涯学習機関とする。
- ・ マルチメディアシステムを活用し、「ハイパーハイビジョン風土記」を主とした地域情報や博物館資料などの情報の収集、加工、発信、受信を行い、情報化社会に対応した博物館を目指す。
- ・ 資料の収集および保存並びに展示に関する専門的な調査研究を推進する。

2 基本方針

(1) 資料収集

県内の人文・自然等に関する資料を収集する。

資料は、実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証に基づく復元模型を含める。

寄贈、寄託、借用、購入等により収集する。

(2) 展示構成

展示は、常設展示と特別展示とする。

常設展示は、総合展示と課題展示とし、それぞれ人文、自然の2部門に分ける。総合展示は、だれにも親しめるよう平易な展示を心掛け、本県の歴史の発展の概要と、自然環境の概要を理解しやすく展示する。課題展示は、内容において、前者よりやや高度なものとする。

特別展示は、特定の企画とテーマを設けて、展示をする。

展示の方法は、(ア)生涯学習の場として、幅広い層に親しめる展示 (イ)資料の単なる羅列ではなくストーリー性のある展示 (ウ)各時代の特色やテーマの本質をとらえた展示 (エ)できる限り実物資料の展示をするが、更に、図表、模型等多種類の資料も

活用 (オ)視聴覚機器などを取り入れ、見る人に強く訴える設備 (カ)明確で分かりやすい解説とする。

展示室の主題と内容は次のとおりである。

○人文展示室1（人文総合展示）

主題「郷土のあゆみ」－原始時代から近代、現代に至るまでの歴史の流れと、各時代の特色を分かりやすく展示する。

○人文展示室2（人文課題展示）

主題「郷土の民俗と美術工芸」－特色ある郷土の民俗と美術工芸を部門別、時代別に展示する。

○自然展示室1（自然総合展示）

主題「郷土の自然とおいたち」－郷土の自然の概要を生態的に分かりやすく展示する。

○自然展示室2（自然課題展示）

主題「郷土のさまざまな自然」－特色ある自然物や事象をテーマ別に系統的に展示する。

○特別展示室（特別展示）

特定の企画とテーマを設けて年に数回展示する。

(3) 調査研究

- ・ 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行う。
- ・ 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的な研究を行う。

(4) マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）

・マイミュージアムギャラリー

個人などによって収集、所蔵されているコレクションを公開展示する。また、生涯学習の成果発表の場など多様な活用を図り、県民文化の交流の拠点とする。

・ハイビジョンホール

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」により、岐阜県の歴史、文化、産業、自然などをハイビジョンで提供するほか、各種のハイビジョンソフトやハイビジョン放送を放映する。また、マルチメディア情報機器を活用し、各種の講演、研修会等の場とする。

・マルチメディアスタジオ

ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」を一人ひとりが自在に検索し、楽しみながら学習できる場とする。

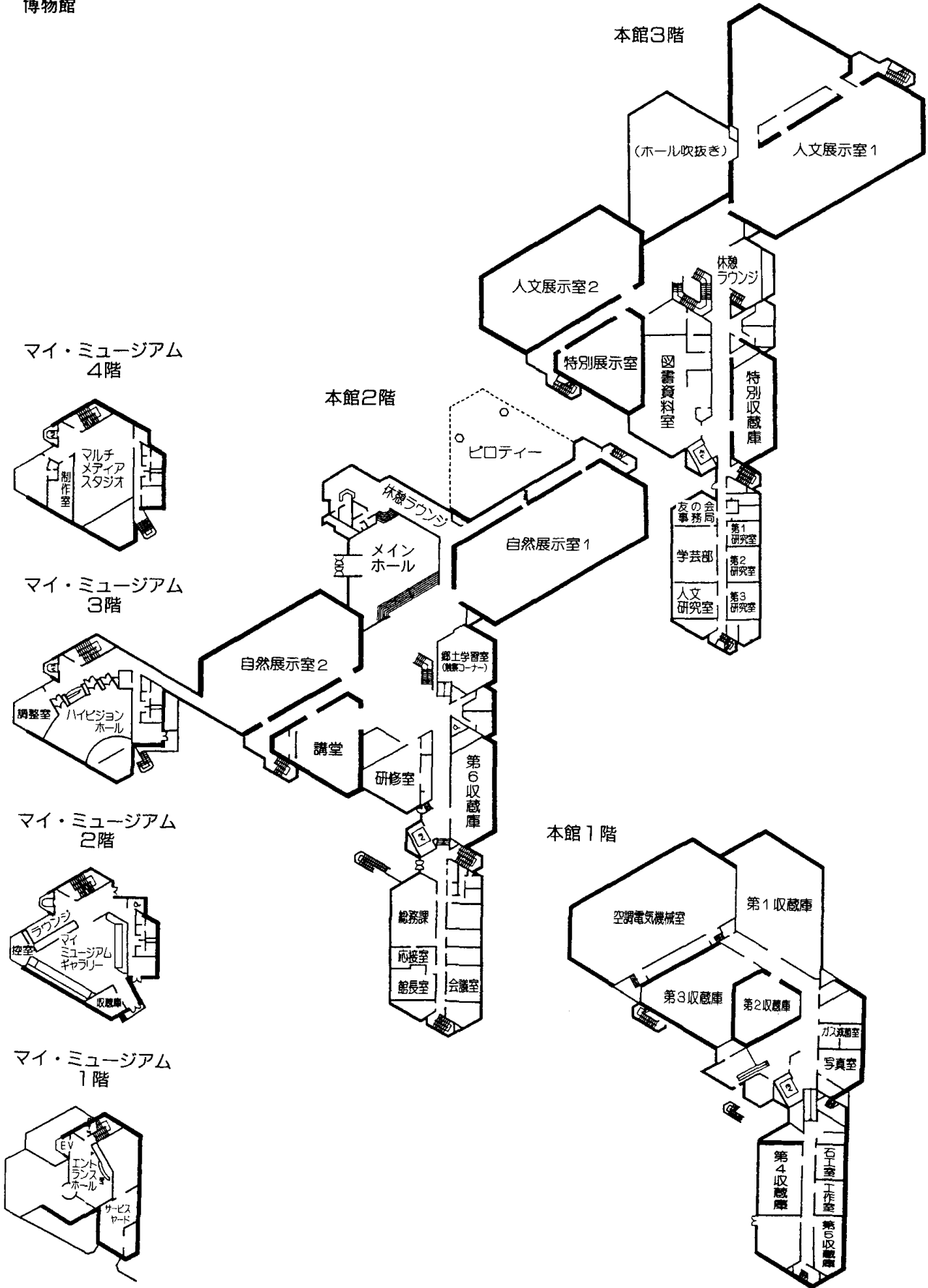
また、マルチメディア機器の利用提供や技術的支援により県民のソフトづくりの工房（マルチメディア工房・ぎふ）としての役割を拡大する。

〔沿革〕

昭和46年3月	岐阜県百年記念事業推進委員会において、博物館の建設を決定	7月	特別展「奥飛騨の自然」	9月	特別展「美濃山地の自然」
4月	教育委員会社会教育課に博物館準備担当を配置	9月	人文展が室Ⅰを改装	10月	入館者160万人を突破
6～9月	博物館懇談会を設ける	10月	開館10周年記念式典を挙行	12月	ユタ州訪問（花フェスタ'95展示化石の借用、交流の推進）
昭和47年4月	博物館開設準備室を設置展示委員会を設ける	昭和62年4月	特別展「飛騨の弥生時代」	平成7年3月	マイ・ミュージアム棟工事の完成ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」美濃路編ソフト完成
昭和48年8月	起工式挙行	7月	特別展「外国から侵入した生きものたち」	4月	特別展「岐阜の淡水魚」
昭和49年3月	展示実施計画樹立	10月	特別展「飛騨の匠」	花フェスタ'95にユタ州恐竜化石を展示	
10月	定礎式	昭和63年1月	旧徳山村民家移築復元	7月	マイ・ミュージアム（マルチメディア情報センター）落成式典挙行 一役公開
昭和50年3月	展示工事着手	4月	自然展が室Ⅰを改装	8月	恐竜ゼミナールGIFU'95開催
7月	本館建築竣工	7月	特別展示室ショーケース改修	10月	特別展「美濃・飛騨の古代史発掘—律令国家の時代—」
昭和51年1月	展示工事完了	10月	特別展「ふるさとの湿原」	入定三百年記念「円空展」（名古屋市と共催）	
4月	岐阜県博物館条例公布	7月	中部未来博'88記念展「中山道—美濃十六宿—」	県下第1号として「マルチメディア工房・ぎふ」開設	
岐阜県博物館設置	展示資料等製作完了	10月	特別展「中生代の化石」	平成8年5月	入館者170万人を突破
5月	開館記念式典挙行 一般公開	平成元年4月	入館者120万人を突破	7月	開館20周年記念展「恐竜のふるさとユタ」
「工匠三人展」・「スポーツ栄光展」	7月	7月	特別展「濃飛の古墳時代」	8月	アメリカ合衆国ユタ州ブリガムヤング大学附属地球科学博物館と友好提携調印式挙行
7月	皇太子・同妃殿下行啓	8月	特別展「ふるさとの野鳥」	10月	飛騨美濃合併120周年記念展「岐阜県の明治維新」
8月	特別展「ふるさとの文楽」	10月	16日恐竜足跡化石白川村で発見	11月	飛騨美濃合併120周年記念「文化講演会」
10月	入館者10万人を突破	11月	特別展「移ろいゆく年中行事」	講師 作家 阿川弘之氏 作家 山田智彦氏	
11月	特別展「熊谷守一展」	昭和52年4月	日本生命財団から図書「岐阜県博物館総合案内」4,000冊の寄贈を受ける	平成9年3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」中山道編ソフト完成
昭和52年5月	特別展「日本伝統工芸秀作展」	7月	特別展「輪中と治水」	4月	特別展「花と鳥のイリュージョン—江戸の学問と芸術—」
7月	特別展「郷土の化石展」	10月	特別展「白山の自然」	9月	特別展「葉草のふるさと伊吹」
11月	特別展「鉄斎」	7月	「恐竜足跡化石レプリカ除幕式グリーンアドベンチャー標識設置（自然観察のこみち）」	11月	入館者180万人を突破
昭和53年4月	入館者30万人を突破	10月	岐阜県博物館協議会に、「新しい時代・県民ニーズに対応できる博物館の在り方について」諮問	入館者140万人を突破	
7月	特別展「濃飛の甲冑」	11月	入館者130万人を突破	平成4年3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申
10月	特別展「世界のコガネムシ」	昭和54年4月	特別展「濃飛の先史時代」	平成3年3月	岐阜県博物館案内標識を設置
昭和54年4月	特別展「能面と装束」	7月	特別展「世界の貝」	4月	特別展「ふるさとの木の文化」
入館者40万人を突破	特別展「濃飛の先史時代」	10月	特別展「世界の文人」	7月	特別展「ふるさとの哺乳動物」
7月	特別展「世界の貝」	12月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	10月	置県120年・岐阜鹿兒島姉妹県盟約20周年記念展「鹿兒島—その自然と歴史—」
10月	特別展「能面と装束」	平成3年3月	岐阜県博物館案内標識を設置	11月	入館者140万人を突破
11月	特別展「鉄斎」	4月	特別展「ふるさとの木の文化」	平成4年3月	岐阜県博物館協議会から「新しい時代・県民ニーズに対応する博物館の在り方について」答申
昭和55年4月	特別展「宝暦治水と薩摩藩」	7月	特別展「濃飛の先史時代」	4月	特別展「飛騨のあけぼの—交流する縄文・古代人—」
5月	入館者50万人を突破	10月	特別展「世界の貝」	7月	特別展「恐竜王国・恐竜—謎とロマン—」
7月	特別展「化石の世界」	平成3年3月	岐阜県博物館案内標識を設置	10月	特別展「近世に輝く濃飛の群像」
10月	特別展「昆虫山人」	4月	特別展「ふるさとの木の文化」	3月	入館者150万人を突破
昭和56年4月	特別展「美濃の絵馬」	7月	特別展「濃飛の先史時代」	4月	特別展「土と炎の芸術」
5月	入館者60万人を突破	10月	特別展「世界の文人」	9月	29日大型ほ乳類足跡化石を美濃加茂市で発掘
7月	特別展「御岳山は生きている」	平成5年3月	「視覚障害者（触察）コーナー」開設	10月	特別展「失われゆく植物」
10月	特別展「ふるさとの美濃古陶」	4月	特別展「濃飛の先史時代」	11月	「ハイパーハイビジョン風土記」イメージシミュレーションソフトの完成
昭和57年4月	特別展「高賀山の信仰」	7月	特別展「ふるさとの植物」	平成10年3月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」飛騨街道・郡上街道編ソフト完成
7月	特別展「ふるさとの昆虫」	10月	特別展「東洋の貨幣」	4月	アロサウルス骨格標本展示
10月	特別展「ふるさとの植物」	平成5年3月	特別展「郷土の生んだ先覚者」	7月	ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」完成記念事業：風土記フォーラム「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
昭和58年4月	特別展「岐阜県の考古遺物」	4月	特別展「濃飛の戦国武将」	7月	特別展「つものかぶとむし」
5月	入館者80万人を突破	7月	特別展「ふるさとの昆虫」	9月	特別展「能面へのいざない—白山山麓から—」
7月	特別展「長良川」	10月	入館者90万人を突破	平成11年7月	特別展「恐竜時代—モンゴルと手取層群の恐竜たち—」
10月	特別展「郷土の生んだ先覚者」	11月	学習ビデオスタディオコーナー設置	7月	入館者190万人を突破
昭和59年4月	特別展「濃飛の戦国武将」	昭和60年4月	特別展「濃飛の縄文時代」	9月	特別展「恐竜時代」入館者4万人突破
7月	特別展「ふるさとの昆虫」	7月	特別展「鉱物の世界」	10月	特別展「水とまつり—古代人の祈り—」
8月	入館者90万人を突破	平成6年1月	特別展「美濃の刀剣」	10月	特別陳列「円空展—魂を水に刻んで—」
10月	学習ビデオスタディオコーナー設置	3月	入館者100万人を突破	8月	
昭和60年4月	特別展「濃飛の縄文時代」	4月	自然展示室Ⅱを改装		
7月	特別展「鉱物の世界」	昭和61年4月	特別展「徳山の四季とくらし」		
10月	特別展「美濃の刀剣」				
入館者100万人を突破	自然展示室Ⅱを改装				
12月	特別展「徳山の四季とくらし」				

〔施設・設備〕

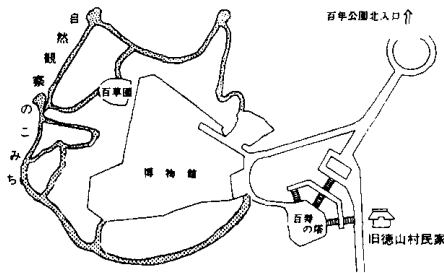
1 博物館



・主要室名及び面積

本館	室名	面積(m ²)	ミュージアム	室名	面積(m ²)
1階	第1収蔵庫	314.1	1階	エントランスホール	76.0
	第2収蔵庫	126.0		2階	ミュージアムギャラリー
	第3収蔵庫	192.0	収蔵庫		25.3
	第4収蔵庫	99.4	収蔵庫		18.5
	第5収蔵庫	55.0	3階	ハイビジョンホール	192.3
自然展示室 I	583.8	調整室		47.0	
2階	自然展示室 II	478.8	4階	マルチメディアスタジオ	206.3
	郷土学習室	95.4		制作室	31.2
	講義室	174.5		応接室	43.8
	研修室	93.2			
	第6収蔵庫	142.8			
	人文展示室 I	942.2			
3階	人文展示室 II	478.8			
	特別展示室	193.2			
	図書資料室	232.0			
	特別収蔵庫	142.8			

2 館外施設



(1) 自然観察のこみち

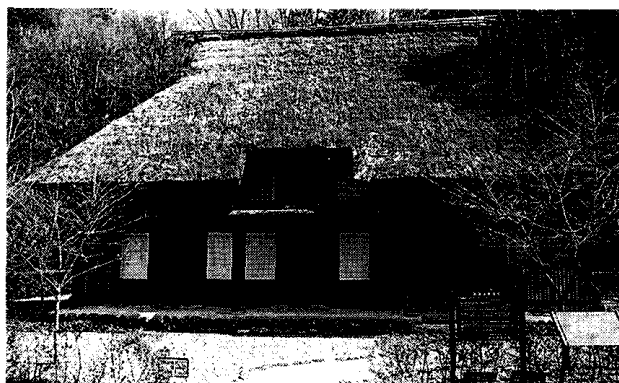
館内における“郷土の自然”の展示に対応し自然環境の中に生きた展示として、季節とともに移り変わる自然のすがたを観察できるようにしたこみちである。

全長約830mで、途中見晴らし台が3ヶ所、万葉集の植物の案内、ツツジの群生地、百草園、マンサクの林などが設けられている。

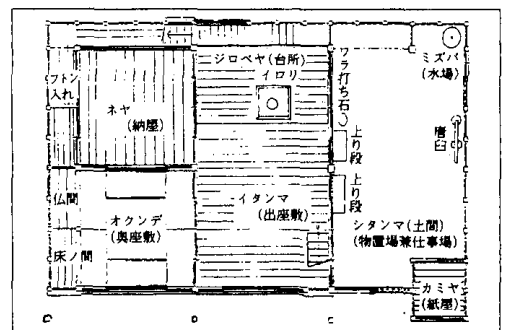
なお、樹林の特徴などが学習できるようグリーンアドベンチャー常設コースとして、40本の樹木にQ&Aパネルを設置している

(2) 旧徳山村民家

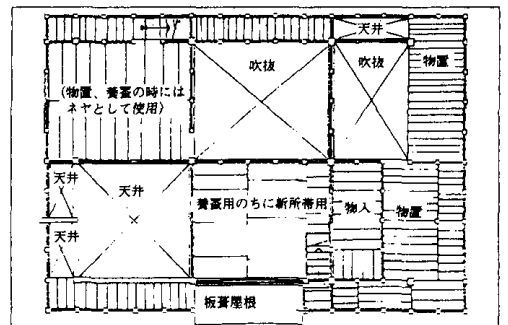
徳山ダム建設計画に伴い、徳山村は閉村となり藤橋村になったが、徳山の生活を後世に語り継ぐため、当時徳山村が入在の宮川澄雄さんから家屋の提供を受け、昭和62年10月7日、移築復元を完了したもので、生活用具なども展示し、無料開放している。



- ・様式 木造かやぶき2階建、南平入り
- ・主材 プナ・トチ
- ・建面積 120.97m²
- ・延面積 197.48m²
- ・間取り 下図参照
- ・建築年代 幕末から明治初年ごろと推定
- ・屋根 入母屋、切り落とし窓つき



▲ 1階間取り図



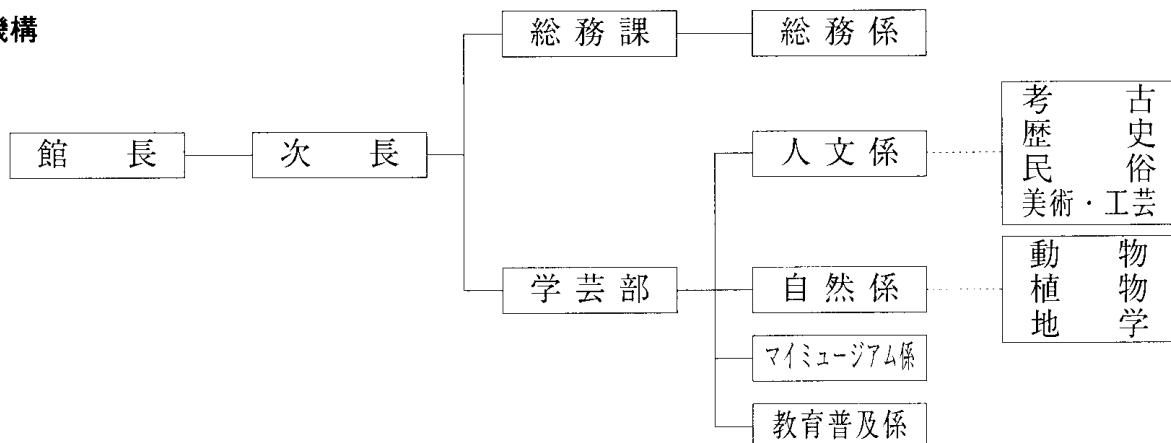
▲ 2階間取り図

Ⅱ 平成12年度 組織・運営

〔組織〕

平成12年4月現在

1 機構



2 職員

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	遠藤 祐神	業務嘱託員	小島 紀美	課長補佐(植物)	井上好章
次長兼総務課長 〔総務課〕	伊藤 金夫	〃	平井 江里子	学芸主事(地学)	古田靖志
課長補佐兼総務係長 主査	古川 司朗	〔学芸部〕	小原 眞紀子	主任(動物)	田出健一
〃	山田 郁子	学芸部長	遠藤 俊治	学芸嘱託員(地学)	河尻清和
主事	小池 裕紀	課長補佐兼人文係長	安田 昌治	マイ・ミュージアム係長	河尻正雄
主事	小嶋 祐子	課長補佐(歴史)	松田 千晴	学芸主事	熊崎康文
業務嘱託員	小林 夕香	〃(考古)	坂口 浩之	〃	江口健治郎
〃	市原 麻利子	学芸主事(民俗)	青木 靖浩	課長補佐兼教育普及係長 (兼)課長補佐	奥村正彦
〃	高橋 紀枝	主事(美術・工芸)	岩佐 伸次	学芸嘱託員	鎌田嘉彦
〃	佐伯 麻里	課長補佐兼自然係長	鹿野 勸	〃	富田幸四郎
					戸塚 幹男

〔事業計画〕

1 展示活動

展示名	期間	主な展示内容
常設展	通年	自然展示室は「郷土の自然とおいたち」と「郷土のさまざまな自然」をテーマに岐阜県の大地ができたようす、郷土の自然とあらまし、ふるさとの動物・植物・岩石を展示。人文展示室は「郷土のあゆみ」と「郷土の民俗と美術工芸」をテーマに郷土の原始時代から現在に至る歴史的な遺産や伝統的美術工芸品等を紹介。
資料紹介展 「はくせいはいんちしない」	4/8(土) ～ 6/11(日)	岐阜県博物館では岐阜県に生息する哺乳類の剥製標本を、希少な種類を除きすべて収蔵している。これらの資料を多数展示し、剥製となった動物がなぜ命を落としたかを検証することで、野生動物とのつきあい方を考える。
夏季特別展 「海を越えた明治」	7/ (20木祝) ～ 9/10(日)	明治時代に日本で制作され、万国博覧会などを通して欧米に輸出された美術工芸品が近年里帰りし、人々の高い関心を呼んでいる。ヨーロッパの王侯貴族を魅了した完成度の高い明治の焼き物の美を紹介する。
秋季特別展 「すばらしき東濃の自然、再発見」	9/23(土祝) ～ 11/26(日)	東濃の湿地や恵那山に自生する植物の生態や形態を中心にしてすばらしい自然の様子を標本や複製資料などで紹介する。また、最近恵那山で発見された巨大ヒノキを複製で展示紹介する。
特別企画 「いにしへの美濃と飛騨」	12/9(土) ～ 1/14(日)	設立10周年を迎えた(財)岐阜県文化財保護センターがこれまでに発掘調査・研究した美濃と飛騨の代表的な遺跡に関わる資料を展示し、当時の人々の生活やその背景を紹介する。
特別陳列 「描かれた街道」	2/24(土) ～ 3/31(土)	中山道を題材にした歌川国芳の浮世絵「木曾街道六十九次」を中心に、宿場や街道の様子を描いた絵画資料を通して、中山道の果たした歴史的役割をみなさんとともに考える。
マイミュージアムギャラリー	県民が収集・保管してきたコレクションや生涯学習の成果を期間を決めて展示する。(次頁下表参照)	

2 平成12年度の教育普及事業

事業名	期 日	対 象	定員	内 容
特別展講演会	7/30	一般	130	万国博覧会の華 七宝焼
	8/6	一般	130	世界に進出した美濃焼
	8/20	一般	130	万国博覧会と日本の工芸
	10/1	一般	130	ヒトツバタゴ(なんじゃもんじゃ)の不思議
特別展講演会 文化講演会	11/19	一般	130	東濃のミカロバキケイソウを探る
特別企画講演会	12/10	一般	130	縄文時代の山と海のくらし
	1/14	一般	130	岐阜県文化財保護センター10年をふりかえって
博物館講座	5/6	教育関係者	40	バードカービング教室1
	6/10	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう①
	6/24	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう②
	7/16	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう③
	7/20	一般	130	明治 新しい時代の到来
	8/5	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう④
	8/13	一般	130	美術工芸品に見る日欧文化の交流
	8/26	一般(高校生以上)	8	ハイビジョン番組を作ってみよう⑤
	1/14	一般(高校生以上)	8	ホームページ制作講座①
	1/28	一般(高校生以上)	8	ホームページ制作講座②
	2/18	一般(高校生以上)	8	ホームページ制作講座③
自然観察会	3/4	一般	130	インターネット技術の進化と現状
	3/18	一般	130	中山道と宿場町
	5/5	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまよう1(しかけ)
	5/21	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまよう1(採集)
	8/10	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまよう2(しかけ)
	8/24	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまよう2(採集)
	8/27	一般	20	サワギキョウを見る会
	9/3	一般	20	モウセンゴケのじゅうたんをのぞこう
	10/28	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまよう3(しかけ)
	11/11	親子	30	ワナをしかけて虫をつかまよう3(採集)
	2/4	一般	20	百年公園のバードウォッチング
たのしい博物館	4/16	一般	20	観察のこみちを歩こう1
	4/22	一般	40	ハイビジョンで見る ふるさと岐阜
	4/30	一般	30	火起こし器をつくろう
	5/7	一般	40	バードカービング教室2
	5/28	一般	40	化石をつくろう1
	6/11	一般	20	観察のこみちを歩こう2
	6/18	一般	20	陶芸教室(午前の部、午後の部実施)
	7/2	親子	40	竹細工～竹でおもちゃをつくろう～
	7/8	一般		クイズで探検!博物館
	7/22	小学生以上	40	のぞいてみよう楽しいインターネットの世界
	7/23	一般	30	染付(印刷)の湯呑みをつくろう
	7/29	親子	40	恐竜ナイトツアー(夜の博物館探検・7/30(日)10:00終了)
	8/12	一般	20	観察のこみちを歩こう3
	8/17	一般	40	化石をつくろう2
	8/19	小学生以上	40	マルチメディアで調べよう!日本の歴史
	8/27	一般	15	七宝のペンダントをつくろう(午前の部、午後の部実施)
	9/2	一般	50	西浦の吹絵技法によるフェアリーランプのタペ
	9/10	女性	40	インターネットで広がる充実ライフ情報
	9/15	一般	40	竹細工～竹籠をつくろう～
	9/17	一般	40	ハイビジョンで見る ふるさと岐阜
	9/24	一般		クイズで探検!博物館
	10/8	一般		徳山のくらしを体験しよう
	10/14	小学生以上	40	マルチメディアで植物ウォッチング
	10/15	親子	20	ヒノキのネームプレートづくり
	10/22	親子	20	リクリク草木染め体験
	11/12	一般	60	あなたもそばうち名人
	11/12	親子	40	森の造形教室～森にすむ動物をつくろう～
11/25	小学生以上	40	マルチメディアで探検!恐竜の世界	
12/3	一般	40	ひこうき紙をつくろう	
12/17	一般	40	わら細工～正月の飾りをつくろう～	
12/23	一般	40	花もちをつくろう	
1/6	一般	20	観察のこみちを歩こう4(七草ウォッチング)	
2/25	小学生以上親子	40	昔のくらしを体験しよう	
3/11	一般	20	観察のこみちを歩こう5	
3/25	一般		クイズで探検!博物館	
特別行事	4/29	一般	300	グリーンアドベンチャー
	5/3	一般		響け!和太鼓
	10/29	一般	40	岐阜の化石ゼミナール1
	10/29	一般	130	岐阜の化石ゼミナール2
	11/3	一般	400	百年公園・博物館を写生しよう
	11/5	一般	40	岐阜の化石ゼミナール3
	1/7	一般	300	七草がゆを食べよう

3 マイミュージアムギャラリーの展示(マイミュージアムギャラリーの展示については出展者の責任で行われます。)

展示期間	出 展 者	出 展 内 容
4/5～5/7	石田正雪	漆喰彫刻「家紋の美」～関ヶ原合戦の武将たち～
5/14～6/18	中島泉	文庫の世界～文庫で見る日本の近・現代史～
6/25～8/6	美並村文化協会・美並村文化財保護協会	小森松溪作品展・美並村の生んだ日本画家～
8/13～9/17	金田行雄	映画の中の岐阜県・映画ホスターコレクション～
9/23～11/5	藤田悦護	いにしへの韓国陶磁器文化の魅力
11/12～12/17	壽後工房/木村喜美恵	パンフラーの楽しみ～粘土でつくる花の魅力～
1/4～2/4	海外日本人学校派遣岐阜県教師の会	楽しい世界の資料紹介展～アジア編～
2/11～3/20	加知厚・鬼山由美子	テラコッタの魅力～ぬくもりある土の造形美～

Ⅲ 平成11年度のあゆみ

〔職員〕

1 職員名簿

職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名	職名(担当)	氏名
館長	遠藤 祐神	[学芸部]		学芸主事	熊崎 康文
次長兼総務課長 (総務課)	伊藤 金夫	学芸部長	古川 和明	課長補佐兼教育普及係長	奥村 正彦
課長補佐兼総務係長	古川 司朗	課長補佐兼人文係長	長嶋 俊之	(兼) 課長補佐	鎌田 嘉彦
主査	小池 裕紀	課長補佐(歴史)	松田 千晴	学芸嘱託員	富田 幸四郎
主任	高橋 昭人	〃(考古)	坂口 浩之	〃	戸塚 幹男
〃	木嶋 祐子	(兼)学芸主事(民俗)	青木 靖浩		
主任	小林 夕香理	主事(美術工芸)	岩佐 伸一		
業務嘱託員	池村 るみ	課長補佐兼自然係長	鹿野 勸次		
〃	市原 麻利子	課長補佐(植物)	井上 好章		
〃	高橋 紀枝	学芸主事(地学)	安藤 善之		
〃	佐伯 麻里	主任(動物)	説田 健一		
〃	小島 紀美	学芸嘱託員(地学)	河尻 清和		
〃	平井 江里子	マイ・ミュージアム係長	岩田 正雄		
〃		課長補佐	浅井 正美		

2 異動

転出	課長補佐兼総務係長	岩田 千恵子	転入	館長	遠藤 祐神
	課長補佐兼普及係長	今津 利治		課長補佐兼総務係長	古川 司朗
	(兼) 課長補佐	曾我 孝司		課長補佐兼普及係長	奥村 正彦
	(兼) 課長補佐	小倉 裕久		(兼) 課長補佐	鎌田 嘉彦
	主任	永田 昌		(兼) 学芸主事	青木 靖浩
退職	館長	高田 晃	新任	主任	小林 夕香理
	学芸嘱託員	小原 克朗		学芸嘱託員	富田 幸四郎
	学芸嘱託員	山田 喜三		学芸嘱託員	戸塚 幹男
	学芸嘱託員	安井 謙介		学芸嘱託員	河尻 清和
	業務嘱託員	古野村 美保子		業務嘱託員	平井 江里子

3 歴代館長名簿

	在職期間(年度)	氏名
1	昭和51年	小幡 忠良
2	昭和52年～昭和54年	松尾 克美
3	昭和55年～昭和56年	大橋 桃之輔
4	昭和57年～昭和58年	吉本 幹彦
5	昭和59年	関谷 美智男
6	昭和60年～昭和61年	廣田 照夫

	在職期間(年度)	氏名
7	昭和62年～昭和63年	森崎 利光
8	平成元年～平成2年	伊藤 秀幸
9	平成3年～平成4年	篠田 幸男
10	平成5年～平成6年	横山 勢津男
11	平成7年～平成8年	清水 廣美
12	平成9年～平成10年	高田 晃
13	平成11年～	遠藤 祐神

〔日誌抄〕

平成11年度

- 4. 1 「岐阜県博物館報」第22号発行
- 1 人事異動に伴う辞令交付
- 4 マイミュージアムギャラリー「さし絵の世界」(~5月5日)
- 17 資料紹介展「井波コレクションとスマイルの世界」(~5月23日)
- 18 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう1」
- 24 第1回博物館サポーター研修
- 25 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう1」
- 25 岐阜県博物館友の会総会
- 29 特別行事「グリーンアドベンチャー」
- 5. 2 たのしい博物館「火起こし器を作ろう」
- 5 特別行事「響け！和太鼓」
- 9 たのしい博物館「春の植物の絵を描こう」
- 11 岐阜県博物館協会通常総会
- 11 マイミュージアムギャラリー「バードカービングの魅力」(~6月20日)
- 16 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう2」
- 22 たのしい博物館「親子バードカービング教室1」
- 23 たのしい博物館「親子バードカービング教室2」
- 25 イコム日本委員会総会(於:東京)
- 30 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう1」
- 30 友の会探訪の旅(~6月1日)
- 6. 5 ふるさとの文化財紹介展「飛騨地区」(~7月4日)
- 6 博物館講座「自分史を書いてみよう1」
- 12 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう1」
- 12 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう2」
- 13 博物館講座「飛騨の文化財」
- 16 岐阜県恐竜化石学術調査団会議
- 20 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう3」
- 26 第2回博物館サポーター研修
- 27 マイミュージアムギャラリー「白隠墨跡展」(~8月1日)
- 27 博物館講座「飛騨に暮らした人々」
- 28 日本博物館協会評議員会(於:東京)
- 29 全国博物館館長会議(於:東京)
- 30 全国科学博物館協議会総会(於:東京)
- 7. 3 恐竜実物全身骨格組立風景公開(~4日)
- 4 たのしい博物館「竹籠を作ろう」
- 7. 8~9 東海地区博物館連絡協議会、日本博物館協会東海支部理事会:総会(於:甲府市)
- 10 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう3」
- 10 たのしい博物館「クイズで探検」
- 11 たのしい博物館「陶芸教室・茶碗」
- 15 特別展「恐竜時代」(~9月15日)
- 18 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう4」
- 18 特別展講演会「モンゴル恐竜最前線」
- 22 たのしい博物館「化石をつくろう1」
- 22 入館者190万人を突破
- 24 たのしい博物館「楽しいインターネット」~クイズなどなど~
- 28 岐阜県博物館協議会
- 28~29 たのしい博物館「恐竜ナイトツアー-1」
- 8. 5 自然観察会「化石をさがそう1」
- 7 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう3」
- 8 マイミュージアムギャラリー「クラシカルコレクション」(~9月19日)
- 14~15 たのしい博物館「恐竜ナイトツアー-2」
- 15 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう5」
- 15 特別展講演会「手取層群とアジアの恐竜」
- 21 たのしい博物館「マルチメディアで探検!恐竜の世界」
- 24 博物館講座「ハイビジョン番組を作ってみよう4」
- 26 たのしい博物館「化石をつくろう2」
- 28 博物館講座「自分史を書いてみよう2」
- 28 特別展「恐竜時代」入館者3万人を突破
- 9. 3 穂積小4年TV会議システム実施
- 5 自然観察会「化石をさがそう2」
- 11 たのしい博物館「化石をつくろう3」
- 11 第3回サポーター研修
- 15 たのしい博物館「インターネットで広がる趣味の世界」
- 15 特別展「恐竜時代」入館者4万人を突破
- 19 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう5」
- 23 博物館講座「自分史を書いてみよう3」
- 26 マイミュージアムギャラリー「書画・古陶の美」(~11月3日)
- 26 たのしい博物館「クイズで探検」
- 10. 3 自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまよう7」
- 5 特別展「水とまつり」(~11月23日)
- 9 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう4」
- 9 たのしい博物館「マルチメディアで再現!考古の世界」
- 10 たのしい博物館「徳山のくらしを体験しよう」
- 22 特別陳列「円空展」(~11月14日)
- 23 第14回国民文化祭さぶ'99協賛開館(~11月3日)
- 23 岐阜県森林課主催「岐阜県森林文化大学」
- 24 特別展講演会「水辺の祭祀」
- 28~29 東海一県博物館協会交流研修会(於:愛知県東浦町)
- 30 第43回岐阜県児童生徒科学作品展中央展(~11月3日)
- 31 たのしい博物館「森の造形教室」
- 11. 3 特別行事「百年公園・博物館を写生しよう」
- 7 特別展講演会「水と古代王権」
- 10~11 三県博物館交流研修(於:斎宮歴史博物館)
- 12 大皇在位10年記念無料開放
- 13 特別行事「岐阜の化石ゼミナール1」
- 14 特別行事「岐阜の化石ゼミナール2」
- 14 マイミュージアムギャラリー「光と水の美」(~12月19日)
- 15~16 全国博物館大会(於:福岡市)
- 17 マイミュージアムギャラリー企画運営委員会
- 20 岐阜県森林課主催「岐阜県森林文化大学」
- 21 博物館講座「岐阜県の祭祀遺跡」
- 27 たのしい博物館「マルチメディアで調べる岐阜の魅力」
- 12. 6 たのしい博物館「やっこ風をつくろう」
- 11 写真展「自然の中の不思議を知る~第20回SSP展」(~1月9日)
- 11 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう5」
- 11 第4回博物館サポーター研修
- 19 たのしい博物館「わら細工~正月の飾りをつくろう」
- 1. 5 マイミュージアムギャラリー「楽しい世界の資料紹介展~南米編」(~2月6日)
- 6 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう6」
- 7 特別行事「七草がゆを食べよう」
- 9 博物館講座「写真教室」
- 22 博物館講座「ホームページ制作講座1」
- 23 マイミュージアムギャラリー出展者による講演会
- 30 自然観察会「百年公園のバードウォッチング」
- 2. 5 博物館講座「ホームページ制作講座2」
- 6 たのしい博物館「昔のくらしを体験しよう」
- 12 マイミュージアムギャラリー「山頂火の世界」(~3月20日)
- 16 (財)景文化財保護センター出土遺物速報展「いにしへの美濃と飛騨」(~3月5日)
- 20 記念講演会「鏡にみる美濃の古墳時代」
- 26 博物館講座「ホームページ制作講座3」
- 26 第5回博物館サポーター研修
- 3. 5 博物館講座「マルチメディアとインターネットの現状」
- 11 たのしい博物館「観察のこみちを歩こう7」
- 15 新収蔵資料紹介展(~3月29日)
- 19 中濃養護学校主催「カイアドラマ演奏会」
- 26 たのしい博物館「クイズで探検!博物館」
- 27 特別展「恐竜時代」に対して「信頼誇賞」を受賞

〔博物館協議会〕

当協議会は、博物館の運営に関し、館長の諮問に応じ、また意見を述べる機関として、岐阜県博物館条例(昭和51年)第2条及び第3条の規定に基づいて設置され、委員は次のとおりである。

氏名	勤務先	現職名
白井進	関市立倉知小学校	岐阜県小学校長会
小瀬洋喜	大垣女子短期大学	大垣女子短期大学学長
片桐武司	学校法人岐阜済美学園	岐阜県私立中学高等学校協会会長
勝山樹由	関市立小金田中学校	岐阜県中学校長会
○坂倉又吉	千代菊(株)	千代菊(株)取締役会長
篠田薫	かぐや第一幼稚園	学校法人 篠田学園 かぐや第一幼稚園園長
嶋崎藤雄	岐阜市方県公民館	岐阜県公民館連合会会長
武山祐司	岐阜県立加納高等学校	岐阜県高等学校長協会
◎土屋齊	(株)大垣共立銀行	(株)大垣共立銀行取締役名誉会長
福田莞爾	岐阜県博物館友の会	岐阜県博物館友の会会長
溝脇昭人	名古屋テレビ放送(株)岐阜支局	名古屋テレビ放送(株)報道部
和田吉弘	中部女子短期大学	中部女子短期大学副学長

◎会長 ○会長代理

(平成12年3月31日現在 五十音別)

任期は平成10年6月21日~平成12年6月20日

〈開催状況〉

月日 平成11年7月28日

場所 岐阜県博物館 講堂

議事 ・博物館の運営について -教育課程の改訂に伴い新設された「総合的学習の時間」に対する博物館の役割-

・その他

〔実施事業の概要〕

平成11年度は資料紹介展「井波コレクションとスマイレの世界」で明けた。次に特別陳列「ふるさとの文化財紹介展」を行った。平成6年度に始まったこの企画も、今回の飛騨地区で県内を一巡した。

夏季特別展「恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～」は、開館以来はじめての中日新聞社との共催事業となった。積極的なPR活動をすすめたこともあり、本館特別展として記録的な入館者数を達成した。

秋季特別展「水とまつり～古代人の祈り～」は、水辺の祭祀を中心に、考古分野の最新の成果を貴重な資料を用いて展示した。展示には県内高校からの協力を得た。岐南工業高校に銅鏡、加茂農林高校に各種木製品、多治見工業高校に土師器、須恵器の復元資料を製作してもらい、触察資料として展示した。

本館は、ベルギー王国アントワープ市民族学博物館が行った円空展では、県内資料の借用や現地での展示指導を行うなどの協力を行った。円空資料の帰国後、本県から出展した資料を中心に、特別陳列「円空展～魂を木に刻んで～」を行った。NHKの新日曜美術館でも紹介され大きな反響を呼んだ。その他「第20回SSP写真展」も行った。

1 調査研究活動

人文関係では、明治期の焼き物、特に海を渡った焼き物の研究をすすめた。中山道をテーマにした資料についても研究をすすめた。

自然関係では、東濃を中心とした植物について調査

し、資料の収集に努めた。関連してヘリコプターによる調査も2回実施した。また、恐竜化石学術調査団の県内手取層群の調査を行った。

2 展示活動

下の表に示すように、特別展2回、資料紹介展2回、特別陳列2回、更に(財)岐阜県文化財保護センター主催の出土遺物速報展を開催した。この特別展を第14回国民文化祭の応援事業に位置づけた。この他マイミュージアムギャラリーの展示を8回行った。

3 資料収集活動

人文関係では、街道をテーマに浮世絵や古地図を集めた。文化庁から接收刀の寄贈を受けた。また、県民の方から民具や農機具などの寄贈も多かった。「関ヶ原合戦絵巻」や雀州の「鶴図」屏風などを購入した。

自然関係では、県内動植物の採集、寄贈を受けた。なかでも、鳥類収集家、柳原要二氏から鳥類剥製1,342点の寄贈もあった。翼竜の骨格標本や恐竜の大腿骨化石などを購入した。

4 教育普及活動

「たのしい博物館」等年間67回の講座、観察会等を実施した。「ワナをしかけて虫をつかまえよう」や「観察のこみちをあるこう」など館周辺の環境を生かした催しも増えた。新しいものとして、こども達を館内に宿泊させる恐竜ナイトツアーの実施、TV会議システム利用の学校との遠隔授業の試みなども行われた。

7月に開館以来の入館者総数が190万人を突破した。なお、本年度入館者は、昨年度を19,185人上回る84,833人であった。

展 示 名	期 間	展 示 内 容	入館者数
常設展	年 間	人文展示室2を中心に、能面、刀剣、陶器等のコーナーの展示替えをした。	
資料紹介展 「井波コレクションとスマイレの世界」	4/17～5/23	東海地方の植物を詳細に調査研究している植物学者井波一雄氏の寄贈による、約3千点の貴重な植物標本の中から、スマイレを中心に128点、他に植物精図、レブリカなどを展示した。	8,966
特別陳列 「ふるさとの文化財紹介展～飛騨地区～」	6/5～7/4	県内の文化財をシリーズで紹介する企画展の6年目(最終回)である。サブタイトルを「江戸時代の飛騨」と名付け、飛騨地区20市町村の特色ある文化財を5つのコーナーに分けて、よりすぐりの歴史資料や美術工芸品約40点で紹介した。	4,077
特別展 「恐竜時代」～モンゴルと手取層群の恐竜たち～	7/16～9/15	県内に分布する手取層群は、現在のモンゴルや中国と同じ大陸の縁辺部に堆積した地層であり、モンゴルと手取層群の恐竜は深い関係がある。今回はモンゴルの実物恐竜全身骨格と手取層群で見つかった恐竜やさまざまな化石などを展示した。	40,755
特別展 「水とまつり」～古代人の祈り～	10/5～11/23	水辺の祭祀の遺跡を中心に、岐阜県をはじめ東海地方、近畿地方各地で出土したさまざまなまつりの道具を展示し、弥生時代の水に対する信仰の萌芽から奈良～平安時代のまつりの変容まで、水に関わる古代人の信仰の様子を紹介した。	16,249
特別陳列 「円空展」～魂を木に刻んで～	10/22～11/14	本年5月から8月にかけて、ベルギー王国アントワープ市民族学博物館で行われた「円空展」を記念して、県内所蔵者からベルギーへ貸し出した円空作品24点を中心に県内の円空作品を約50点展示した。	10,133
写真展 「自然の中の不思議を知る」	H11 H12 12/11～1/9	第20回SSP展(日本自然科学写真協会写真展)を行い、動植物、天文、気象、地形、風景、顕微鏡写真など117点を展示した。	1,729
発掘速報展「いにしへの美濃と飛騨」	H12 H12 2/16～3/5	(財)岐阜県文化財保護センターが平成10年度に発掘調査・研究した、美濃と飛騨の遺跡からの出土遺物を展示し、当時の人々の生活や背景を紹介した。	2,430
マイミュージアムギャラリー	H11 4/4 H12 ～3/20	さし絵の世界 (4/4～5/5) パート「カビ」の魅力 (5/11～6/20) 白隠墨跡展 (6/27～8/1) クラシカルコレクション (8/8～9/19) 書画・古陶の美 (9/26～11/3) 光と水の美 (11/14～12/19) 楽しい世界の資料紹介 (1/5～2/6) 山頭火の世界 (2/12～3/20)	

夏季特別展

恐竜時代

—モンゴルと手取層群の恐竜たち—

(開催期間)

平成11年7月16日(金)～9月15日(祝・水)

(趣旨)

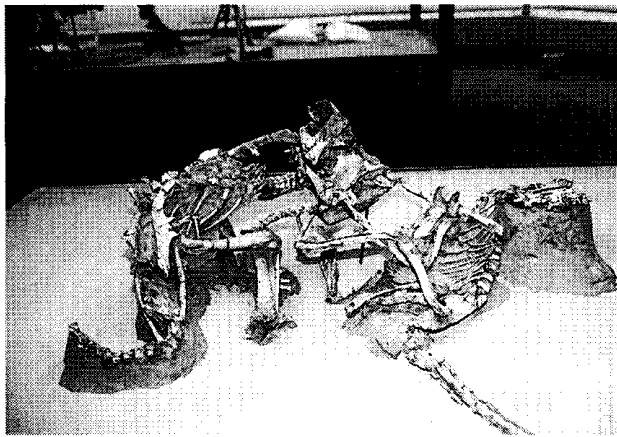
地球上に恐竜が栄えていた中生代は恐竜時代とも呼ばれている。岐阜県には中生代に堆積した手取層群と呼ばれる地層が分布し、平成元年に白川村で恐竜足跡化石が発見されてから、岐阜県博物館でも継続的に手取層群の地層と化石について調査してきた。この中生代は日本海が形成される前の時代であり、手取層群は現在のモンゴルや中国と同じ大陸の縁辺部に堆積した地層である。このことから、手取層群の恐竜はモンゴルなどアジア大陸の恐竜と深い関係があったと考えられている。

本特別展では、モンゴルの実物恐竜全身骨格と手取層群で発見された恐竜をはじめとする様々な化石や岩石からわかる恐竜時代の様子を紹介した。

(展示内容)

①恐竜発掘最前線 モンゴルの恐竜たち

恐竜格闘化石、ヨロイ竜、ダチョウ恐竜など本物の化石だけで組み立てた恐竜全身骨格10体ほか(モンゴル科学アカデミー所蔵)を展示。



②手取層群と岐阜の恐竜時代

岐阜県・福井県・石川県・富山県にまたがる手取層群から発見された恐竜時代の化石を展示。

③岐阜県の恐竜化石調査

岐阜県に分布する手取層群に関する調査・研究の成果を展示。

④恐竜と遊ぼう

恐竜全身骨格レプリカを展示し、恐竜と一緒に写真を撮るコーナーや実物恐竜化石や恐竜時代の化石・岩石に触れるコーナーを設置。

⑤特別展ができるまで

恐竜全身骨格の組立風景をビデオと写真で紹介。岐阜県恐竜化石学術調査団の調査風景と調査用具を展示。



(関連事業)

- ・特別展講演会「モンゴル恐竜最前線」7月18日(日)
講師：モンゴル科学アカデミー古生物学センター所長
リンチェン・パルスボルド博士
- ・特別展講演会「手取層群とアジアの恐竜」
8月15日(日)
講師：福井県立博物館総括学芸員 東 洋一博士
- ・たのしい博物館 化石をつくろう 3回実施
7月22日(木)・8月26日(木)・9月11日(土)
- ・たのしい博物館 恐竜ナイトツアー 2回実施
7月28日(水)～29日(木)・8月14日(土)～15日(日)
- ・たのしい博物館 マルチメディアで探検!恐竜の世界
8月21日(土)
- ・自然観察会 化石をさがそう 2回実施
8月5日(木)・9月5日(日)



(その他)

中日新聞との共催により、多数の新聞広告・関連記事・連載記事を中日新聞に掲載した他、高速道路サービスエリア・パーキングエリアへのポスター掲示、中日新聞・地元企業・博物館友の会の協力による折り込みチラシの配布など、従来になく積極的な広報活動を行った。

平成11年度秋季特別展

1 展示会名称

「水とまつり ～古代人の祈り～」

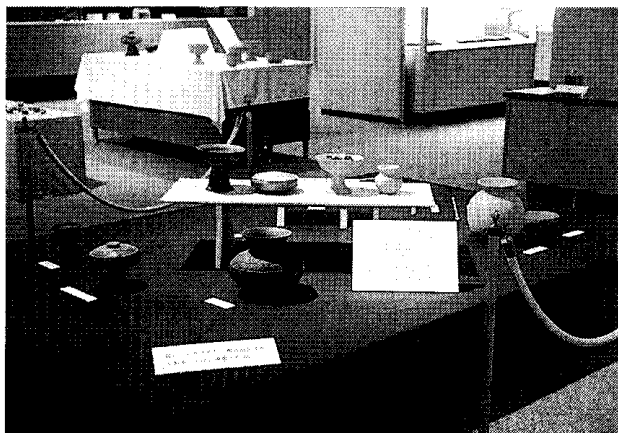
2 開催期間

平成11年10月5日（火）～11月23日（祝）

3 趣旨

水は人間の生活に欠かせないものであるだけでなく、古代人にとっては神聖な存在であり、精神的な面でも大切な役割をもっていた。記紀や風土記の説話からは、井泉や河川の神をまつったり、水を用いてまつりや儀礼を行った首長や地域の人びとの姿がうかがわれる。また近年、水辺の祭祀に関する遺跡の調査研究が各地で進められており、水にかかわる古代のまつりのようすは考古学の面からも解明されつつある。

本展示会では、古墳時代を中心に県内外の関連遺跡からの出土品を展示することにより、古代における水にかかわるまつりの発達や変容を探るとともに、古代人の思いや願いに触れることを目的とした。



復元資料の展示風景

4 展示内容

本展では、5つのコーナーに分け、水辺のまつりの展開を時代を追って紹介し、各遺跡やまつりの道具の特徴を比較して観察できるように構成した。

(1) 水に対する信仰の萌芽

弥生時代には、稲作の普及とともに集落の水源として井戸が発達し、小銅鐸などを用いた井戸のまつりが行われた。また、弥生後期の絵画土器には、竜や渦巻など水にかかわる意匠が見られた。

＜おもな展示品＞

小銅鐸（岡山県下市瀬遺跡） 落合町教育委員会蔵

(2) 井泉・水分のまつりと導水施設

古墳時代には、地域の水源となる井泉や水分の地にまつりの場が設けられ、土器や玉、石製模造品、木製品な

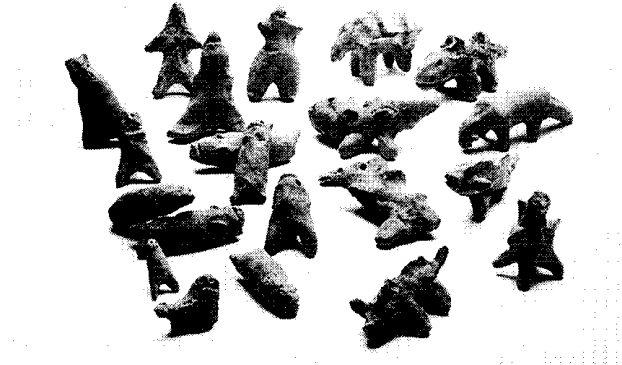
どさまざまな道具を用いてまつりが行われた。水源のまつりには首長がかかわっており、関市の砂行遺跡でも、首長墓に近接して湧水のまつりの跡が発見されている。

＜おもな展示品＞

初期須恵器四連壺（三重県六次A遺跡）

三重県埋蔵文化財センター蔵

(3) 川辺のまつり



人形・動物形土製品（静岡県神明原・元宮川遺跡）

静岡県埋蔵文化財調査研究所蔵

古墳時代には、集落の近くを流れる河川のほとりでもまつりが行われた。中には土器などの遺物が据え置かれた状態のまま発見される例もある。水難、水害の防止や集落の境界祭祀としての性格が考えられる。

＜おもな展示品＞

河岸祭祀遺構出土一括遺物（滋賀県斗西遺跡）

能登川町教育委員会蔵

(4) まつりの変容—律令時代以降の祭祀—

律令国家の時代には、漢神のまつりなど中国の影響による道教的信仰が見られるようになった。罪や穢れ、疫病を除くために行われた祓いの儀礼には人形・土馬などの祭祀具が用いられ、河川や溝へ流された。

＜おもな展示品＞

墨書人面土器（京都府長岡京跡）向日市教育委員会蔵

(5) まつりの道具のいろいろ

弥生後期の線刻人面土器や奈良～平安時代の墨書人面土器をまつり・まじないの顔として紹介したほか、岐阜県内で出土した各種の祭祀遺物を紹介した。また、高等学校の協力で製作した復元資料を触察展示した。

＜関連事業＞

・10月24日（日） 特別展講演会・文化講演会
「水辺の祭祀」

三重大学名誉教授

八賀 晋氏

・11月7日（日） 特別展講演会
「水と古代王権」

同志社大学歴史資料館学芸員

辰巳和弘氏

・11月21日（日） 博物館講座
本館学芸員

坂口浩之

〔資料紹介展〕

井波コレクションとスマレの世界

平成11年4月17日(土)～5月23日(日)

東海地方をくまなく歩き回り、そこに自生する植物を知り尽くしている植物学者、井波一雄氏。その井波氏が本館に寄贈された数々の貴重な標本を植物精図とともに紹介した。

中でも井波氏は、特にスマレに愛着をもち、スマレ図譜も執筆してみえる。そこで、井波氏の標本や植物精図をもとに、主に県内に自生するスマレをレプリカ(複製)で紹介した。

展示構成は大きくは次の3つになっている。

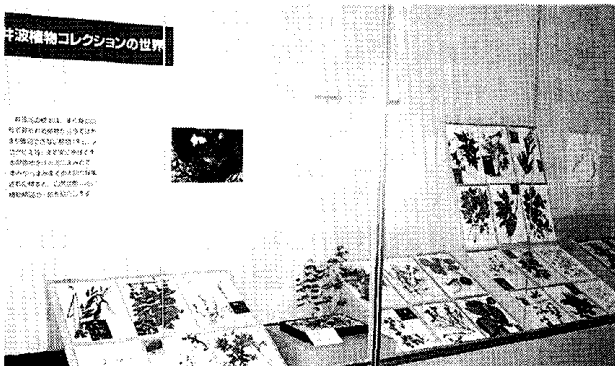
- ①井波氏が追い求めたスマレたち
- ②植物楽者、井波氏の業績と発見
- ③井波植物コレクションの世界



シハイスミレ *Viola violace*

①井波氏が追い求めたスマレたち

本県はスマレ王国といえるほどスマレの種類が多く、現在、岐阜県で45種類ほどのスマレの自生が確認されている。井波氏は、本館に24種、78点ものスマレ標本を寄贈された。また、井波氏は、「日本スマレ図譜」(六月社)を執筆し、各スマレの各部位を細かく分けて植物精図を丹念に描いてみえる。

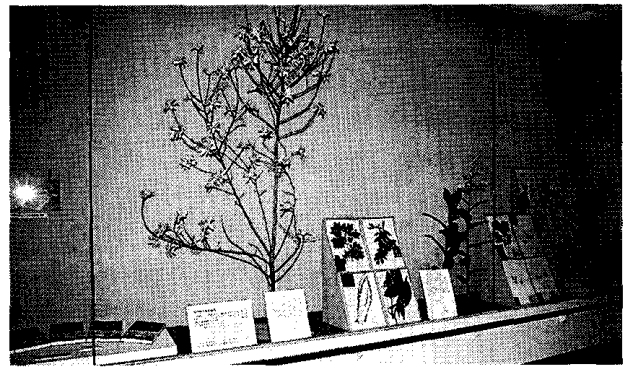


「井波氏が追い求めたスマレたち」の展示風景

②植物楽者、井波氏の業績と発見

井波氏は、少年時代より植物に興味をもち、山野を教科書として独学で勉強された。卓越した植物鑑識眼をもち、タキミチャルメルソウ、ミノシライトソウ、キタヤ

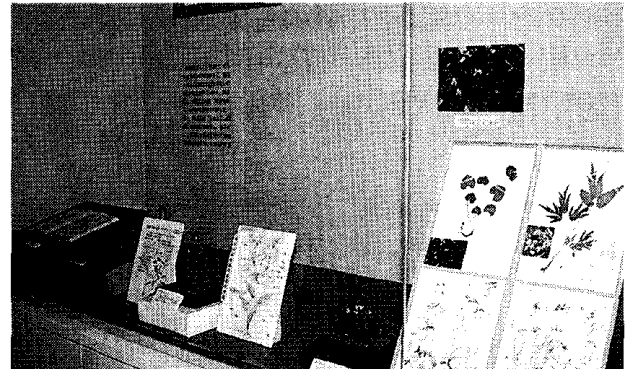
マオウレン等の新種を発見してみえる。また、書かれた植物論文の数は実に150編にもなる。



「植物楽者、井波氏の業績と発見」の展示風景

③井波植物コレクションの世界

井波氏の標本は、すぐ身の回りで見られる植物から今ではあまり確認できない植物(キビ、ホタルカズラ等)まで実に多様である。本県各地をすみからすみまで歩き回り採集された井波氏の汗と泥にまみれたような標本、自然状態に近い植物精図の一部を紹介した。



「井波植物コレクションの世界」の展示風景

<関連事業>

自然観察会

「観察のこみちを歩こう1」

4月18日(日)10:00～

特別行事

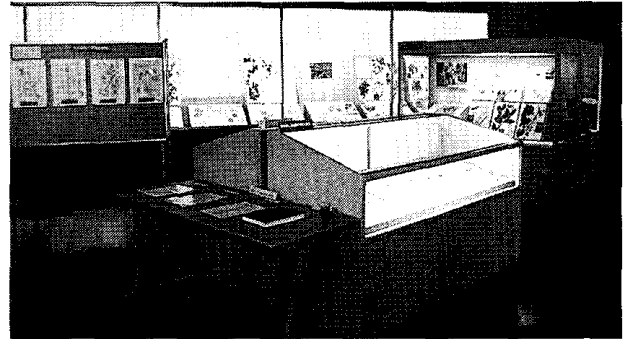
「グリーンアドベンチャー」

4月29日(木・祝)10:00～、13:30～2回

たのしい博物館

「春の植物の絵を描こう」

5月9日(日)10:00～



中央部分の展示風景

特別陳列 ふるさとの文化財紹介展 ー飛騨地区ー 江戸時代の飛騨

1 展覧会名称

「特別陳列 ふるさとの文化財紹介展ー飛騨地区ー
江戸時代の飛騨」

2 開催期間

平成11年 6月5日(土)～7月4日(日)

3 概要

日本の真ん中に位置する美濃と飛騨というそれぞれに特徴のある地域から成り立っている岐阜県には豊かな自然と多様な文化が育まれてきた。このような地に伝わる貴重な文化遺産をより広く知ってもらうために、当館では平成6年度から「ふるさとの文化財紹介展」を開催し、本年は岐阜県の北部を占める飛騨地区20市町村を対象とした。

本展覧会では江戸時代に焦点を当て、その時代の飛騨の諸相の一端を示した。それらは、雪国ならではの民具や祭の道具であったり、険しい山々を切り開き道を作った先人の苦労を偲ばせる絵画など多様な範囲にわたった。本展の開催により、より一層郷土の文化に関心を寄せて、文化財に対する理解を深めてもらうことを願いたい。

4 展示内容

① 祈りとまつり

木地屋仏や円空仏など木の国ならではの素朴な仏像や厳しい環境にあって平安を願って奉納された絵馬、飛騨の匠に代表される高度な技術を駆使した狛犬や神像など飛騨の人々の宗教世界をあらわす作品を展示した。



木地屋仏 (清見村・弘誓寺蔵)

② 行き交う人々

険しい山々に囲まれた飛騨地域は古来より交通の難所が多くあった。江戸時代には人々の交流が盛んになりそれらを改善しようとする動きが盛んになった。このコーナーではそれらを含む江戸時代の飛騨の交通事情を物語る作品や加藤素毛に関する作品を展示した。

<主な展示品>

- ・二木俊恭 河内道改修絵巻
- ・田中大秀 長淀新橋記
- ・大森旭亭 越中東街道絵巻

③ 学問と芸術の世界

高山を中心とする飛騨地域には文化の中心地である京都と江戸の双方から質の高い文化が流れ込んできた。それらに係わる作品を展示した。

<主な展示品>

- ・狩野安信 位山・細江図
- ・大森旭亭 松上の鷹岡(神岡町・洞雲寺蔵)
- ・南裔楚雄 墨跡

④ いやしの湯

飛騨には温泉がたくさんあり、中でも下呂と平湯の温泉は江戸時代から人々に親しまれてきた。当コーナーではそれらに関する資料を展示した。

<主な展示品>

- ・田中大秀、赤田臥牛 平湯記
- ・湯番の下げ札(下呂町・下呂温泉株式会社)



絵馬(下呂町・温泉寺蔵)

⑤ 住まいと暮らし

冬の寒さが厳しい飛騨では暮らしの中にさまざまな知恵が活かされていた。また、山々に囲まれた地での重要な生活の糧となった和紙製作など、飛騨びとの暮らしをものがたる資料を展示した。

<主な展示品>

- ・馬体図
- ・宮川及び周辺地域の積雪期用具(宮川村蔵)
- ・合掌造り葺き替え道具類

円空展 一魂を木に刻んでー

1 展覧会名称

「ベルギー王国アントワープ市民族学博物館出展記念 円空展 一魂を木に刻んでー」

2 開催期間

平成11年10月22日（金）～11月14日（日）

3 概要

江戸時代初期の寛永9年（1632）美濃に生まれた円空は、若くして出家し広く旅をしながら作仏を続け、人々の平安を祈り続けた宗教家である。彼の残した仏像は「円空さん」として今もなお県内の各地で篤い信仰と共に生きている。今年の5月から8月にかけて、円空によって魂を刻み込まれた仏像たちが、ベルギーのアントワープ市民族学博物館において開催された「円空展ー17世紀の日本から時代を超えてー」へ出展されるために大挙して海を渡った。その展覧会にはヨーロッパはもとよりアメリカや南米諸国からの観覧者が訪れ、多くの人に感銘を与えたという。

本展覧会では世界的な評価を得た円空仏を彼の生誕地である岐阜を中心に広く全国の人々にも公開し、その真価を認識してもらうように努めた。

岐阜県内の所蔵家からベルギーへ出品された円空仏はもとより、それ以外にも岐阜県内に所在する優れた円空仏をも併せて展示することにより円空に対する理解をより深めてもらうことに努めた。



ベルギー・アントワープ市民族学博物館前景

4 展示構成

① 世界へ紹介された円空仏

アントワープ市民族学博物館へ出品された岐阜県内に所在する円空仏を展示した。当県内からは円空の初期作品から円空の作風が確立する晩年の仏像までさまざまな種類や形態の円空仏が出品された。

このコーナーの展示に当たっては、アントワープ市民族学博物館で実際に製作・使用されたキャプションやパネル類を借用して展示に加え、ベルギーでの展示の一端を再現をするように試みた。

<主な展示品>

- ・迦楼羅像（萩原町・久津八幡宮蔵）
- ・釈迦如来像（関市・天徳寺蔵）
- ・地藏菩薩像（美濃市・慧照院蔵）



稻荷神像（金山町・権現社蔵）

② 円空のふるさと岐阜

円空が生まれ、亡くなった美濃やたびたび訪れた飛騨には歴史的にも芸術的にも貴重な優れた円空仏が残っている。それらの中から今まであまり公開されることのなかった個人所蔵作品を中心に展示した。

<主な展示品>

- ・弁財天像
- ・烏帽子観音像
- ・厨子入り観音像

③ 異国へ渡った円空さん

海外での初の大規模な円空展となったアントワープでの展覧会の模様をさまざまなパネルやカタログ、絵はぎなどを中心に紹介した。あわせてアントワープ市民族学博物館の概要を示すパンフレット類も展示し、来館者に理解を深めてもらうことに努めた。

[写真展]

自然の中の不思議を知る～第20回SSP展～

平成11年12月11日(土)～平成12年1月9日(日)

SSP展は、日本自然科学写真協会の会員の作品を紹介する写真展である。今年度は、東京、大阪、福岡、新潟、愛媛、岐阜と巡回した。プロとして活躍する写真家の作品を含め、動植物、水中、気象、地形、風景、顕微鏡写真など117点を展示した。

(1) 第20回展記念 SSPの創生期

- ・カタツムリ誕生 佐々木崑
- ・マンタ・レイ 館石昭
- ・トキ(佐渡島) 岩合徳光
- ・ショウジンガニ メガロバ幼生 竹村嘉夫
- ・ミジンコの誕生 渡辺庸子
- ・冬芽 サワグルミ 富成忠夫
- ・シャコの顔 磯貝高弘
- ・夕焼け 鈴木正一郎
- ・雨ふりヒヤデス 林完次
- ・カワマス産卵 桜井淳史
- ・淡水コケムシ休芽の発芽 織田秀実
- ・イソニアジドメタンズルホン酸ナトリウム 秋山実
- ・水滴とラップフィルム 前田幸生
- ・タケニグサの果実 高橋新一
- ・頸動脈撮影像 高城泰彦
- ・ヒゲコムツキの飛行 栗林慧
- ・雪の結晶 伊東良郎
- ・ヒキガエル たねむらひろし
- ・ギフチョウ(羽化直後) 浜野英次
- ・麦秋多彩(北海道) 前田真三
- ・吹雪止んで(北海道) 関口哲也
- ・鍾乳洞 唐木孝治
- ・エバーグレイズ大湿地帯 米谷佳晃

(2) 鳥、水中、小動物、昆虫、植物

- ・ヤマセミ 菅原泰代
- ・タンチョウの親子 横田久
- ・カワセミ(ダイビング) 山崎幸一
- ・ルリビタキとメジロ 生嶋正巳
- ・トカゲを捕らえたアカシヨウビン 中西和夫
- ・照ヶ崎のアオバト(神奈川県) 吉田典一
- ・チョウゲンボウ 宮崎久仁夫
- ・ムクドリのはらばら 今井寿雄
- ・イヌワシ 遠藤義人
- ・霧氷 江藤隆
- ・トキ 湖岸に憩う 津田堅之介
- ・コウテイペンギンのヒナ 内山巖
- ・川の中のタンチョウ 小川雄司
- ・オオタカ 中野安治
- ・ヤリイカの産卵 小林安雄
- ・清掃共生 大方洋二
- ・ウシガエル 新井完夫
- ・オオダイガハラサンショウウオ(幼生) 沼田研児
- ・サンゴの産卵 伊藤勝敏
- ・魚の溜まり場 武田晋一
- ・かわいいかわいいカクレクマノミ 中村征夫
- ・シロアリの巣 野間雅次
- ・オグロブレイリードックの赤ちゃん 海藤秀満
- ・キノカワガ 大林隆司
- ・ウスバカマキリ 田辺秀男
- ・水面のスケーター コセアカアメンボ 安川源通
- ・コフキトンボ 桜井大士
- ・リュウキュウベニイトトンボ産卵 水上みさき
- ・ハンミョウ 小椋山賢二
- ・ミヤマモンキチョウ 平岩昭彦
- ・トンボの縄張り争い 田中博
- ・オニヤンマのオスとメス 斎藤楨
- ・シコクトゲオトンボの産卵 川崎克美
- ・ハッチョウトンボ 佐藤俊男

- ・モンキアゲハ 村田泰隆
- ・ホソオチョウ(雌) 中橋利和
- ・交尾と求愛 北添伸夫
- ・ジャコウアゲハ 海野和男
- ・眠るベニシジミ 新開孝
- ・ヒメウスバシロチョウ 森谷武男
- ・雌雄異型種の交尾 菱川法之
- ・シャクナゲ 古武善哉
- ・クルミの木の冬芽と落葉痕 小林佑
- ・ミヤマキリシマの群落 川口孝
- ・黄葉氷結 水口睦美
- ・カタクリ紅白 山田英男
- ・キバナノヤマオダマキ 上山信雄
- ・モンスセラの花 渡邊弘晴
- ・ヒカリゴケ 佐藤正
- ・オオシロカラカサタケ 難波由城雄
- ・キヌガサタケ 渡辺利夫

(3) 天体、山岳、風景、自然、ミクロ

- ・コロラドの空 竹内敏信
- ・オーロラ(Aurora Borealis) 小川眞二
- ・入陽の軌跡 森松夫
- ・光環と立山 村山留雄
- ・冬の星座と流れ星 岡田勤
- ・三裂星雲 吉田智之
- ・焼ける巻雲 坂本真一
- ・渦動吊るし雲 高橋健司
- ・しし座流星群 駒沢満晴
- ・オーロラ 田中雅美
- ・積雲(せきうん) 福田勉
- ・波状高積雲の中に現れた太陽柱 谷内久一
- ・笠雲のおもて 大森弘一郎
- ・静夏に雲湧く一美瑛町 伊東剛
- ・雷雲 阿久津静夫
- ・輝く積雲 斎藤誠
- ・ヘルボップ彗星 藤井恒
- ・虹 菅田隆雄
- ・霧水樹 坂本公一
- ・厳冬の朝(信州の聖山) 藤沢智
- ・雪塵 赤塚一
- ・雪の結晶 林直光
- ・水紋 増井治
- ・水の中の桜の落ち葉 伊藤滋
- ・浅間早暁 茶谷茂
- ・新潟県の棚田 前川彰一
- ・棚田の夜明け 中條均紀
- ・海原を駆ける夕波 田中達也
- ・嵐 飯島勝
- ・枝折峠朝霧 林明輝
- ・サルオガセと白峰 塩田論司
- ・厳冬の頂(那須茶臼岳) 椎名亮介
- ・鬼無里の吉池 中村路人
- ・小田代湿原 和田健兒
- ・権ヶ崎 濱地利一
- ・燕岩の奇岩 岩本直樹
- ・ダウラギリ8167m 川口邦雄
- ・クサビライシ(骨格薄片) 芳賀信彦
- ・結晶の集合 伊藤尚
- ・結晶質石灰岩 酒匂一
- ・C Dの虹色 伊知地国夫
- ・キノホルム 畠山洋一
- ・4 ギガビットDRAM 嶋野行雄

<関連事業>

○写真教室「自然写真への誘い」—花鳥風月を語る— 1/9 講師 田中達也(自然写真家)

[マイミュージアムギャラリー]

(1) 運営の概要

県民（在住、在勤、ゆかりの人）が収集・所蔵しているコレクションや生涯学習の成果作品を募集し、一定期間、公開展示の場とする。マイミュージアムギャラリー企画運営委員会によって承認された展示計画に従い、順次展示をしていただく。出展者の募集は常時行っている。

(2) 平成11年度の展示状況

回	展示期間	出展者	出展内容
1	平成11年 4月4日（日） ～ 5月5日（祝）	林 賢司	さし絵の世界 〈大衆に愛された 画家たち〉
2	5月11日（火） ～ 6月20日（日）	内山 春雄 井藤 一樹 渡部 京子	バードカービング の魅力
3	6月27日（日） ～ 8月1日（日）	梅 竜 寺 大 龍 寺 賑 濟 寺	白隠墨跡展 〈美濃に伝わる 禅画の美〉
4	8月8日（日） ～ 9月19日（日）	齋木 寛治	クラシカル コレクション 〈浮世絵・蓄音機 ・カメラ〉
5	9月26日（日） ～ 11月3日（祝）	柴山 定夫 西部 良夫 佐藤 利光	書画・古陶の美 〈武者絵・織部・ 花鳥人物図〉
6	11月14日（日） ～ 12月19日（日）	山下 勝彦 林 文造	光と水の美 〈エッチング グラス・ ふるさと岐阜の滝〉
7	平成12年 1月5日（水） ～ 2月6日（日）	海外日本人 学校派遣岐 阜県教師の 会	楽しい世界の 資料紹介展 〈南米編〉
8	2月12日（土） ～ 3月20日（祝）	平手 勳逸	山頭火の世界 〈拓本の楽しみ〉

(3) 展示記録「マイ・コレクション」の発行

展示リーフレット「マイ・コレクション」を各回の展示ごとに発行した。平成11年度は7年度からの通番で、第31号から第38号まで発行した。

(4) 出展者による解説・講演・実演等の開催

来館者に対して、出展者による展示解説、講演、実演、教室を以下のように開催した。

○第1回「さし絵の世界」

・展示解説 林 賢司さん

○第2回「バードカービングの魅力」

・バードカービング教室 講師 内山春雄さん

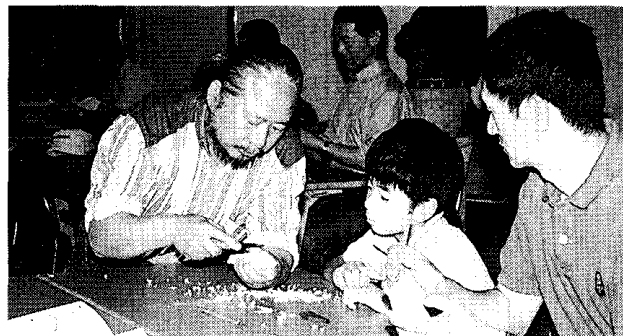
補助 井藤一樹さん、渡部京子さん

日時 平成11年5月22日、23日（日）

午前10時～午後3時

場所 岐阜県博物館講堂

出展者の一人である内山さんは、アメリカで開かれる国際バードカービングコンテストで毎年のように上位入賞を果たされるほどの、日本のバードカービングの第一人者で、日本バードカービング協会の会長である。バードカービングを楽しみつつ、刃物の正しい使い方を知ってもらいたいと、関市の刃物会社から無償で切り出しナイフの提供を受け、内山さん自らが講師として指導された。一緒に出展された井藤さん、渡部さんも指導にあたり、小学生からお年寄りまで大変熱心に取り組み、すばらしい作品ができた。



○第4回「クラシカルコレクション」

・クラシックカー試乗会 齋木寛治さん

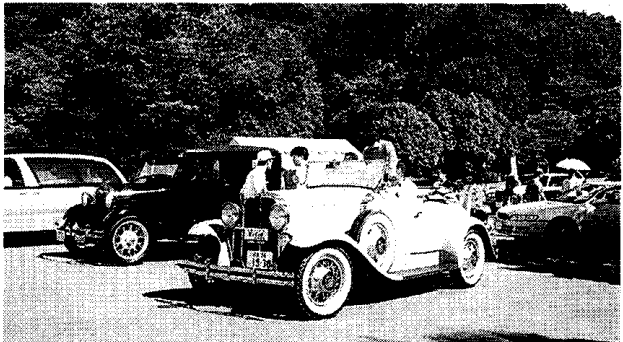
日時 平成11年8月22日

午前10時30分～11時30分

午後1時30分～3時00分の2回

場所 百年公園北口

齋木さんのコレクションの一つであるクラシックカーの特別試乗会と展示会を行った。百年公園へ来園された方に、百年公園への進入路、往復約700mを、フォードA型（1928年製）とビュイック（1930年GM製）の2台に試乗してもらい、他に3台のクラシックカー等を展示した。約300名の参加者があり、親子連れなど大いに楽しんでいただけた。



○第5回「書画・古陶の美」

・展示解説 西部良夫さん

○第6回「光と水の美」

・展示解説 山下勝彦さん・林 文造さん

○第7回「楽しい世界の資料紹介展」

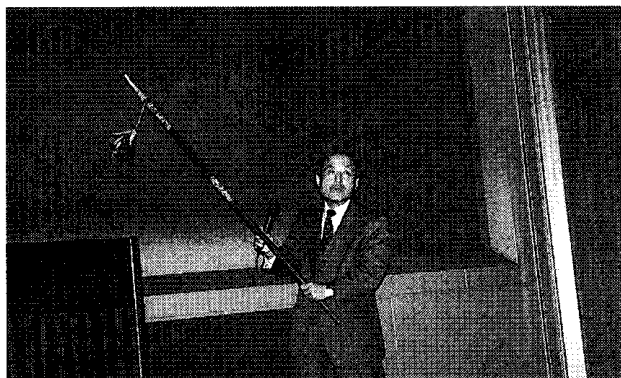
・講演 「アマゾン体験記」

講師 金武 宏泰さん

期日 平成12年1月23日

場所 マイミュージアム3階 ハイビジョンホール

出展者自身の体験談は現地ならではの内容で、知っているようで知らないアマゾンの大自然の様子やアマゾンに住む人々の様子がよくわかった。ビデオを交えての講演で映像と話がマッチしていたし、親しみやすい内容だった。



○第8回「山頭火の世界」

・展示解説 平手勘逸さん



各展示において、出展者自らが積極的に会場内で展示解説を行った。出展者は来館されるたびに展示内容の見所などの解説をし、来館者との交流も深まった。

来館者からも、隠れた話が聞け、大変有意義だったという感想を聞けた。各出展者も、来館者の質問や意見などを聞いて大変勉強になったり、視野も広まったり、同好者も増えたりと好評だった。

(5) 博物館同人としての登録

出展者は博物館同人とし、13名と3団体に同人証を発行した。

(6) 平成11年度の出展申し込み

漆喰彫刻作品、海外日本人学校帰国教師の会の海外コレクション、書写作品、パッチワークキルト作品、陶芸作品魚皮拓作品、折り紙作品、創作絵画と音楽作品、ストーンペインティング作品、水彩画作品など、計10件の申し込みがあった。生涯学習の作品の申し込みが増えた。

(7) マイミュージアムギャラリー企画運営委員会

○期日 11月17日 ○場所 本館会議室

○議題

①これまでの展示の経過と課題について

・過去の展示ではなかった内容が増えてきている。バードカービング作品の展示では、日本の第一人者の作品が展示されるなど、内容的にも質的にも充実してきた。また、教室の開催など生涯学習に通じる催しができる。さらに、県重要文化財を展示することができ、百年公園を会場にクラシックカーの試乗会を開催した。写真や拓本など生涯学習の成果作品が増え、海外日本人学校の帰国教師による展示では、学校での国際教育で利用されることを出展者は念頭においている。女性の来館者が増え、県内だけでなく、愛知県など県外から来館者を集めた。

・展示準備、撤収はスムーズに対応できている。

・効果的な案内や広報がなされ、新聞報道だけでなく、何度となくテレビで取り上げられた。

②平成12年度展示計画について

・真贋の問題は当初から議論してきたが、出展者とよく打ち合わせをし、出展者の責任で展示するという前提のもと、慎重に対応することが大切だ。

・作品が増えてきているが、ギャラリーの存在が広く知られるように関係者や公民館の生涯学習施設への広報活動が重要である。

○委員の構成

	氏名	役職
委員	浅野 勇	岐阜県市長会長
〃	糸魚川淳二	名古屋大学名誉教授
〃	岩田 伸雄	会社会長
〃	加藤 郁子	岐阜県地域婦人会連合会会長
〃	熊澤 昌之	岐阜県町村会長
〃	嶋崎 藤雄	岐阜県公民館連合会長
〃	高田 晃	前岐阜県博物館長
〃	辻 欣一	岐阜県社会教育委員連絡協議会長
〃	原 保治郎	岐阜県議会教育警察委員長
〃	船戸 政一	関市教育長
〃	松本 五三	岐阜県博物館協会理事長
〃	吉田 豊	岐阜県芸術文化会議会長

会長は吉田豊氏、副会長は松本五三氏が継続就任。

〔発掘速報展〕

いにしへの美濃と飛騨

平成12年2月16日(水)～3月5日(日)

(財)岐阜県文化財保護センターでは、県内各地において埋蔵文化財の発掘調査を実施しており、現地での説明会のほか、埋蔵文化財の普及啓発の一環として毎年速報展を開催し、その成果を広く県民に公開している。同センターの発掘事業は、近年の開発の進展にともない、毎年十数カ所の遺跡で行われており、本県の考古学に貴重な資料を提供している。各遺跡の調査成果をわかりやすくまとめ、一般に提供する場として、本展示の果たす役割には大きなものがある。

本年度の展示では、昨年度同様、速報性を重視し、平成10年度に調査を行った遺跡から12遺跡をとりあげて展示し、豊かないにしへの郷土の文化を紹介した。

主催は(財)県文化財保護センターであり、当館は、岐阜県教育委員会とともに共催という立場で、おもに教育普及面で協力を行った。



<展示構成>

美濃地方の9遺跡、飛騨地方の3遺跡を次のように時代を追って展示し、実物に触って学べるよう縄文土器、須恵器、山茶碗の破片を触察展示した。

- ①戸入村平遺跡Ⅱ(藤橋村、縄文時代)
- ②岩井谷遺跡(春日村、縄文時代)
- ③岩垣内遺跡(丹生川村、縄文時代)
- ④上ヶ平遺跡(下呂町、縄文時代・古代)
- ⑤南青柳遺跡(関市、弥生時代末～古墳時代初頭)
- ⑥冬頭山崎1・2号墳、冬頭山崎1号横穴、冬頭城跡(高山市、古墳時代・中世)
- ⑦南青柳古墳(関市、古墳時代)
- ⑧ホヤノ木古墳(坂下町、古墳時代)
- ⑨橙ノ木洞遺跡(関市、古墳時代～中世)
- ⑩針田遺跡(美濃加茂市、古代)
- ⑪佐口遺跡(美濃加茂市、古代・中世・近世)
- ⑫大坪遺跡(美濃加茂市、中世・近世)

<おもな展示内容>

(1) 縄文時代の遺跡

戸入村平遺跡Ⅱでは、縄文中期の土器群と石器類、岩井谷遺跡では、縄文土器、祭祀的要素の強いミニチュア土器、石器類、岩垣内遺跡では、縄文中期～後期の集落の捨て場などから出土した多種多様な土器、多数の土偶破片、タカラ貝形土製品、石器類を展示した。上ヶ平遺跡では、下呂石の石核や剥片を展示した。



(2) 弥生～古墳時代以降の遺跡

上ヶ平遺跡では、土師器、灰釉陶器、南青柳遺跡では、土師器、鉄製品、冬頭山崎1・2号古墳では、須恵器、鉄剣、弓、鉄鏃、南青柳古墳では、鉄剣、鉄刀、短甲、馬具、橙ノ木洞遺跡では、美濃刻印須恵器、蝶の線刻絵画のある灰釉陶器、梯子などを展示した。針田遺跡では、須恵器、土師器、佐口遺跡では、須恵器、山茶碗、鳥形水滴などの施釉陶器、大坪遺跡では、山茶碗を展示した。

<展示資料数>

約380点 (他に触察資料24点)

<関連事業>

記念講演会 2月20日(日)

「鏡にみる美濃の古墳時代」

南山大学教授 伊藤秋男氏



[調査研究・資料収集活動]

—自然部門—

1 調査研究

<動物分野>

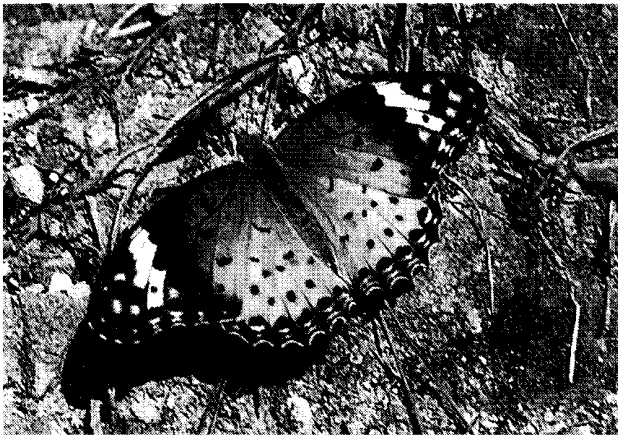
(1) チョウ類のルートセンサス

関市小屋名百年公園内で、中島和典氏（博物館サポーター）とチョウ類のルートセンサスを行った。調査期間は4月から11月までとし、月2回実施した。調査ルートは、アカマツ林、コナラやアベマキを中心とした雑木林、草原など多様な環境が含まれるよう留意し、設定した。

観察されたチョウ類は41種485個体であった。このうち、アゲハチョウ科は6種28個体（5.8%）、シジミチョウ科は11種46個体（9.5%）、ジャノメチョウ科は6種212個体（43.7%）、シロチョウ科は4種69個体（14.2%）、セセリチョウ科は8種61個体（12.6%）、タテハチョウ科は6種69個体（14.2%）であった。

個体数が多かったのは、サトキマダラヒカゲ（ジャノメチョウ科）の71個体で、続いてヒメウラナミジャノメ（ジャノメチョウ科）の58個体、キチョウ（シロチョウ科）の55個体、ツマグロヒョウモン（タテハチョウ科）の39個体、ヒメジャノメ（ジャノメチョウ科）の35個体であった。

生息環境との関わり、本調査地のチョウ類群集の解析は今後、別の機会に公表する。



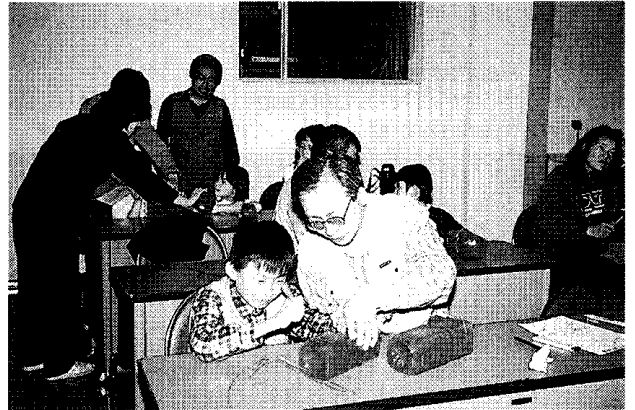
ツマグロヒョウモン（タテハチョウ科）

(2) 地表性甲虫の調査

ペットボトルを利用したトラップを使用し、地表性甲虫の調査を実施した。自然観察会「ワナをしかけて虫をとろう」参加者とともに、4月から10月にかけて調査した。ベイトは蛹粉を用いた。

ミカワオサムシ（甲虫科）*Carabus arrowianus*
クロナガオサムシ（甲虫科）*Leptocarabus procerulus*
クロシデムシ（シテムシ科）*Nicrophorus concolor*
マエモンシデムシ（シテムシ科）*Nicrophorus maculifrons*
ヨコボシシテムシ（シテムシ科）*Nicrophorus quadripunctatus*
コクロシデムシ（シテムシ科）*Ptomascopus morio*
オオヒラタシデムシ（シテムシ科）*Eusilpha japonic*

ヘリトゲオスジコガネ（コブシコガネ科）*Tarox mandli*
センチコガネ（コガネシ科）*Geotrupes laevistriatus*
トガシエマコガネ（コガネシ科）*Onthophagus fodiens*
コブシエマコガネ（コガネシ科）*Onthophagus atripennis*



自然観察会「ワナをしかけて虫をつかまえよう」

<植物分野>

(1) 東濃地方の植物分布調査及び資料収集

恵那市を中心にして東濃地方の植物相の調査を行った。特に本年度は恵那山を中心にし、東濃の湿地も部分的に調査した。

特別展示の準備として、できるだけ標本を採集したが個体数が極端に少ない種に限っては、採集しないでスライド等の二次資料にとどめた。

① 恵那山で確認したもの



アリドオシラン（ラン科）

Myrmechis japonica

カリガネソウ（マツタケ科）*Caryopteris divaricata*
アカミノイヌツゲ（イチバク科）

Ilex sugerokii var. *brevipedunculata*
ツマトリソウ（サクラソウ科）*Trientalis europaea*
ゴゼンタチバナ（ミズキ科）*Cornus canadensis*
セリバシオガマ（ゴマハク科）*Pedicularis keiskei*
キソチドリ（ラン科）

Platanthera ophrydioides var. *monophylla*
ウメガサソウ（イチバク科）*Chimaphila japonica*
クモキリソウ（ラン科）*Liparis kumokiri*
センジュガンビ（ナデシコ科）*Lychnis gracillima*
シラタマノキ（ツバキ科）*Gaultheria miqueliana*

②ジオラマ作製のための調査

恵那山やその周囲の植物様子を特別展示で再現するために、代表的な植物を選定し、その形態等を調べた。

オクヤマコウモリ (芍薬科)

Cacalia maximowitziana var. *alata*

コウシンヤマハッカ (シソ科)

Rabdosia umbrosa var. *latifolia*

メタカラコウ (芍薬科) *Ligularia stenocephala*

サラシナショウマ (キツネノクサ科) *Cimicifuga simplex*



カワチブシ (キツネノクサ科)

Aconitum grosse-dentatum

③湿地で確認したもの

恵那山周囲だけでなく、土岐市や瑞浪等の湿地やその周辺も植物の分布を調査し、標本を採集した。恵那山と同様に個体数が極端に少ない種は二次資料にとどめた。

トキソウ (ラン科) *Pogonia japonica*

ヤマトキソウ (ラン科) *Pogonia minor*

サワラン (ラン科) *Eleorchis japonica*

クロミノニシゴリ (ハイネキ科) *Symplocos paniculata*

ヒナノカンザシ (ヒメギ科) *Salomoniasia oblongifolia*

ミツガシワ (ミツガシワ科) *Menyanthes trifoliata*

シラヒゲソウ (ユキガシ科)

Parnassia foliosa var. *nummularia*

カザグルマ (キツネノクサ科) *Clematis patens*

ヤマラッキョウ (ユリ科) *Allium thunbergii*

オニスゲ (カヤツリ科) *Carex dickinsii*

イシモチソウ (モウセンゴケ科)

Drosera peltata var. *nipponica*



リンドウ (リンドウ科)

Gentiana scabra var. *buergeri*

<地学分野>

(1) 岐阜県恐竜化石学術調査団 (コブ谷地域の調査)

岐阜県恐竜化石学術調査団では、平成2年度から進めている恐竜調査の一環として、平成10年度より手取層群の堆積環境を明らかにすることを主目的とした調査を進めている。これらの調査の成果は、岐阜県博物館研究報告で継続的に発表したほか、本年度の夏季特別展「恐竜時代」で発表した。また、今後も継続して調査を進める計画である。

本年度は大野郡荘川村コブ谷地域に分布する手取層群の調査を行った。コブ谷地域は、昨年度に調査した大黒谷地域の調査の北西に隣接する。また、この地域は過去に恐竜・カメ・トカゲなどの脊椎動物化石や多くの軟体動物化石を産出しており、新たな恐竜化石発見の可能性の高い重要な地域である。

○現地調査

現地調査は、7月22日～7月25日、8月6日～8月9日の2回、8日間にわたり、延べ80人で行った。7月22日～23日には信州大学理学部助教保柳康一博士を講師に迎え、堆積相解析の研究会を行った。

現地調査は、1/100スケールでの柱状図の作成と化石調査を中心に行った。調査結果は12月16日の調査団会議で検討し、その成果は岐阜県博物館研究報告第21号に発表した。



○資料整理

調査団が採集した化石標本のクリーニングと整理は、6月30日～7月8日、8月19日～8月22日、9月16日～9月21日の3回、20日間にわたり、延べ52人で行った。

本年度は、特別展「恐竜時代」に展示する標本の整理とクリーニングに多くの時間を使い、整理した標本の一部は、特別展に展示した。しかし、過去10年間にわたり調査団が収集した化石標本の数は莫大な量にのぼり、まだクリーニングや整理ができていない標本が多く残っている。こうした資料をクリーニングし、整理して保存することが今後の大きな課題である。

(2) 「親しむ博物館づくり事業」

本年度、文部省委嘱の親しむ博物館づくり事業として、「見て、触れて、造って、楽しく学ぶ化石ウォッチング」を行った。

○目的

化石に親しむことを通して、地球科学に対する興味関心や理解を高めるための活動を多角的に展開する。

○事業の概要

化石観察セットを作成し、このセットを用いて以下の事業を行った。

①体験型化石教室

- ・特別行事「岐阜の化石ゼミナール」1回
- ・たのしい博物館「恐竜ナイトツアー」2回
- 「化石をつくろう」3回
- ・学校単位での化石教室を伴う博物館見学2校

②アウトリーチ活動

- ・出張化石教室6校12学級
- ・化石観察セットの貸出4件

化石セットは、三葉虫・アンモナイト・恐竜の歯などの実物化石とそのシリコン型、レプリカ作成道具などをコンテナにまとめ、持ち運びできるようにした。

○参加者の状況と反応

- ・参加者人数：延べ907人
- ・内訳：一般163人、大学生3人、高校生5人、
中学生202人、小学生525人、幼児9人

博物館で開催した体験型化石教室は、特別展に伴う広報の成果もあって、毎回定員以上の参加希望があった。親子での参加が多かったが、大人も子供も夢中になってレプリカづくりに取り組み、大変好評であった。

出張化石教室は、学校での授業内容との関係で小学校6年生と中学校3年生の依頼が集中した。小学校高学年から中学生は博物館の行事への参加が大変少ない年代であるが、この化石教室では大変熱心に活動していた。他の学年でも実施したいとか、来年度も実施したいという学校がほとんどであった。

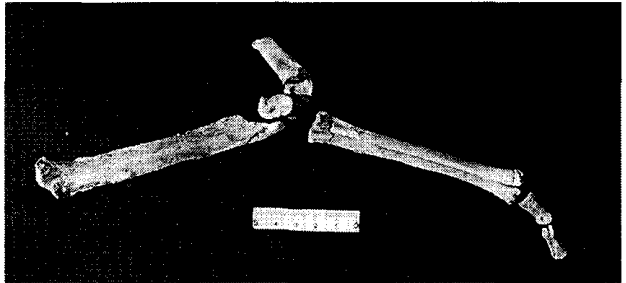


(3) 蜂屋累層から産出した哺乳類化石の調査

東濃地方に分布する瑞浪層群は哺乳類化石が産出することで知られる。今回、瑞浪層群の最下部層の蜂屋累層から哺乳類化石が発見された。一宮市在住の東 充彦氏が川辺町鹿塩のゴルフ場造成地で鉱物調査中に発見したものである。東氏からの報告を受けて博物館が採集した。

蜂屋累層から報告される哺乳類化石は初めてであり、また、この化石は瑞浪層群で最も古い時代（約2,000万年前）に当たるため貴重な資料である。そこで、化石の産状と地質について調査研究した。化石をクリーニングした後、骨格の部位を検討した。また、化石の産出層準と産状を明らかにするために現地地質調査を行った。

クリーニングした化石で部位が明確なものは、脛骨・距骨・踵骨・中足骨・基節骨・中節骨であり、これらは右後肢の連続した部位である。この化石動物は中足骨・踵骨・距骨の形態と特徴からミノシカ (*Anphytoragulus minoensis*) の仲間と比較される。この標本はニホンジカとの比較から、体長55cm、体高47cm程度に推定された。



ミノシカの右後肢の骨格

(4) 郡上八幡、鍾乳洞の化石調査

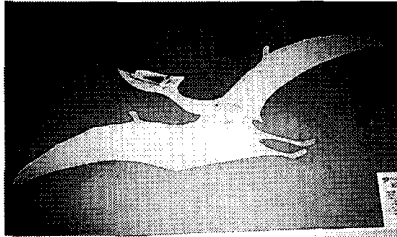
八幡町には多くの鍾乳洞があり、そのうちの3つの鍾乳洞から動物の化石が産出する。博物館では鍾乳洞産の化石を、氷河時代の美山動物群と題して自然展示室1で展示している。展示してある化石は約30年前に調査されたもので、その後は郡上の鍾乳洞で化石を調査・採集した報告がない。鍾乳洞内の化石は裂下堆積物に含まれるもので、おもに堅穴型の鍾乳洞に落ち込んだ動物が土砂と共に埋まったものである。近年は調査がなされていないため、新しい化石の採取を目的として、博物館では京都大学と共同で調査することにした。調査した鍾乳洞は次の2つである。

- ・杉穴 八幡町安久田西安久田
(所有者) 和田茂雄氏、八幡町東町1区
- ・熊石洞 八幡町美山稚児山南西麓
(所有者) 井森正則氏、八幡町美山1404

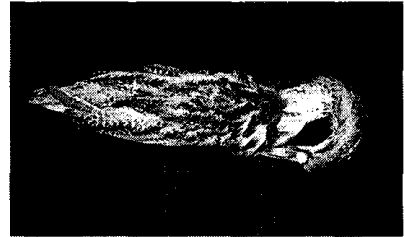
2つの鍾乳洞を4日間、延べ27人で調査し、化石の入った土砂を採取した。採取した土砂を京都大学へ運んで、化石の洗い出しを進めている。産出した化石は京都大学で調査研究した後、将来は岐阜県博物館へ移管することとしている。

2 資料数一覧表

分野	館 蔵					借 用	寄 託	館蔵 借用 合計 寄託
	実 物	複 製	自作等 その他	館蔵数合計	() 寄贈内数			
動 物	31,644	16	129	31,789	(17,282)	0	0	31,789
植 物	24,049	70	190	24,309	(9,464)	0	0	24,309
岩石鉱物	2,085	5	73	2,163	(543)	18	0	2,181
化 石	1,985	43	24	2,052	(1,079)	48	28	2,128
そ の 他	63	22	168	253	(21)	0	0	253
計	59,826	156	584	60,566	(28,389)	66	28	60,660



ズンガリプテルス骨格標本 (レプリカ)



サンカノゴイ剥製標本

3 資料寄贈者芳名一覧 (敬称略・順不同)

資 料 名	点数	芳 名	資 料 数	点数	芳 名
ゴイサギ	1	田中 宏幸	鳥類剥製標本	75	嶽本清一郎
ヤマドリ	1	森山 斉美	ゴイサギ	1	亀山 正道
カワウ	3	大澤 真美	タヌキ	1	川島 信雄
カンテンコケムシ	1	宮崎 惇	全国各地のシダ植物標本	70	竹内純一郎
オオルリ	1	田中 太	板取周辺地域の貴重植物標本	22	成瀬 亮司
イタチ	1	田口 五弘	各務原市植物標本	301	鳥居 進
キビタキ	1	武井 拓運	国立科博植物標本 (帰化植物)	25	国立科学博物館植物研
ホンシュウジカ	1	熊崎 大貴	西濃地区植物標本	105	川本 晴之
ツバメ	1	林 義成	植物の実の標本	208	山口 清重
メジロ	2	ク	東濃のシダ植物標本	111	粟田 郁男
コオイムシ	1	原 次郎	東濃地区植物標本 (宮村産を含む)	540	二村 延夫
タヌキ	1	亀山 正道	三重県等の植物標本	50	大洞 浩一
ヤエヤマヒルギシジミ	2	安井 謙介	希少植物標本	20	福岡 義洋
コアジサシ	1	今井 雅之	各地のシダ植物標本	50	金古 弘之
ハクビシン	1	後藤 満史	水生植物標本	30	奥田 桂介
オオタカ	1	古市 信明	特殊植物標本	10	宮崎 惇
鳥類剥製標本	1342	柳原 亮一	県内の貴重植物標本	40	山崎 玲子
ノゴマ	1	金子 徳彦	ブラジル産魚類化石	1	吉橋 宗敬
ヤマドリ	1	天野 和文	福地の化石	220	今井 昭三
ヒレンジャク	1	坪内 精二	大桑層産出化石標本	1	安井 謙介
キツネ	1	堀田 勝	鷹之図	1	瀧 秀水

4 購入資料一覧

資 料 名	点数	購 入 先	資 料 名	点数	購 入 先
恵那山中腹の植生ジオラマ	1	岩崎総研	ヒブシロフォドン全身骨格 (レプリカ)	1	京都科学
オサバグサ (レプリカ)	1	ク	レドダス (魚類化石)	1	ゼネラルサイエンス
ツチアケビ (レプリカ)	1	ク	ステゴサウルス大腿骨	1	ク
ズンガリプテルス全身骨格 (レプリカ)	1	京都科学	カマラサウルス肋骨	1	ク
テスケロサウルス全身骨格 (レプリカ)	1	ク	荘川村産恐竜化石 (複製)	1	松岡 広繁

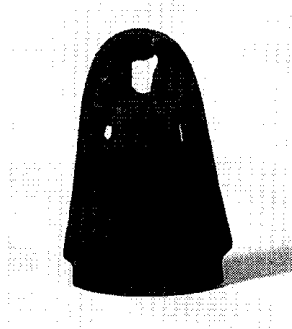
— 人 文 部 門 —

1 調査研究

<考古分野>

○平成11年度特別展「水とまつり—古代人の祈り」に係わる調査研究

- ① 水に対する信仰の萌芽—弥生時代、小銅鐸等を用いた井戸のまつりと絵画上器に見る竜の絵などの水に係わる意匠
- ② 井泉・水分のまつりと導水施設—古墳時代、地域の首長が執り行った水源祭祀の遺構・遺物と浄水祭祀に係わる遺構
- ③ 川辺のまつり—古墳時代、集落近くの河道のほとりで行われるまつりに使われた道具
- ④ まつりの変容—祓の儀礼など律令時代以降の祭祀に用いられた人形・土馬・墨書人面土器等の祭祀具と水の役割
- ⑤ まつりの道具のいろいろ—県内の各地の遺跡から出土した古代の祭祀遺物
- ⑥ 県内の水の信仰にまつわる史跡と伝承—養老町と各務原市の御井神社、養老神社の菊水の泉
- ⑦ 触祭用の復元資料の製作・展示に関する研究—銅鏡、土器、木製形代等



小銅鐸（岡山県下市瀬遺跡出土）
落合町教育委員会蔵

上記に係わる出土遺物等の実物資料、文献資料について調査を行った。それらの研究成果を、特別展、特別展図録、博物館講座「岐阜県の祭祀遺跡」等の形で発表した。

<歴史分野>

○平成12年度特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」に係わる調査・研究

多治見市文化財保護センターや瑞浪陶磁資料館・中津川市苗木遠山史料館・岐阜市歴史博物館をはじめとする県内の各機関や個人、東京国立博物館・名古屋市博物館・京都府京都文化博物館などから指導・協力を受ける中で特別展で表現したいテーマを明確にし、展示すべき資料を博搜した。

○岐阜県の文化に係わる調査・研究

平成12年度特別展「海を越えた明治～ヨーロッパが愛した焼き物の美～」に係わって、岐阜県の陶磁器産業が尾張地方と絡み合いながらどのように発展してきたのか、また明治期の殖産興業政策推進に欠かせなかった万国博覧会や内国勸業博覧会が日本の陶磁器産業にとってどのような意味をもっていたのかということ調査研究し、その成果の一部を『岐阜県博物館調査研究報告第21号』に発表した。



染付草花文車輪型取手付珈琲碗皿（5客のうち）
碗：高さ6.8cm 口径6.1cm
皿：最大径12.5cm 高さ1.7cm
銘「濃陶社職工 加藤五輔造」

<民俗分野>

○平成12年度特別陳列「描かれた街道—国芳・広重の中山道—」に係わる調査研究

- ① 国芳の中山道
- ② 描かれた美濃十六宿
- ③ 公の旅・私の旅

についての文献資料調査及び、岐阜県、愛知県にある関係博物館、資料館等を訪ね、現地調査を実施した。

○岐阜県の文化—美濃飛騨の比較研究—岐阜県内の伝統工芸品（和傘・岐阜提灯）について現地調査を実施した。

「昭和」の時代に使用された生活・生産用具の収集に積極的に努めた。



提灯製造の一場面

＜美術工芸分野＞

○特別陳列「ふるさとの文化財紹介展—飛騨地区」に係わる調査研究

飛騨地区20市町村の各教育委員会の指導・協力のもと、同地区の歴史と文化を調査研究して当該地域の特色を見いだそうとするとともに、特に美術工芸分野における優れた作品の発掘に努めた。

以上の調査研究に基づき、飛騨地区に伝わる優れた文化財を選定し、平成11年6月5日から7月4日の期間において特別陳列として当館特別展示室において展示をした。その成果は博物館講座「飛騨地区の文化財紹介」「飛騨に暮らした人々」において発表した。

○特別陳列「ベルギー王国アントワープ市民族学博物館

出展記念「円空展—魂を木に刻んで」に係わる調査研究

平成11年5月から8月にかけてベルギー王国のアントワープ市民族学博物館において開かれた「円空展—17世紀の日本から時を超えて」へ岐阜県内から出品された円空仏および出品作以外の優れた県内所在の円空仏に関する調査研究を行った。特に今まで展覧会などに出品されることのなかった個人所蔵の作品を多く調査することができた。これらの成果を生かして、平成11年10月から11月にかけて展覧会（特別陳列）を開催した。

○博物館資料購入に関する調査研究

岐阜県にかかわりの深い実物資料のうち、浮世絵を中心に調査研究を進め、広重の「六拾余州名所図会美濃養老瀧」の購入などに役立てることができた。

2 資料数一覧表

分野	実物	複製	自作・他	館蔵計（内寄贈数）	借用	寄託	総計
考古	2,000	164	52	2,216（1,804）	497	187	2,900
歴史	1,404	34	122	1,560（1,354）	20	163	1,743
民俗	2,058	1	0	2,059（2,055）	248	114	2,421
美術工芸	537	17	0	554（190）	263	2,024	2,841
計	5,999	216	174	6,389（5,403）	1,028	2,488	9,905

3 資料寄贈者芳名一覧

資料名	点数	芳名
灯火管制カバー	1	梅村 五月
衣装箆筒	1	小 鞠 明 生
足踏み式脱穀機等	3	町野金以知
明治時代の教科書類	4	太田 利 夫
唐箕	1	水野 俊 美
和傘制作道具	1	小木曾雅夫
江名子バンドリ	1	藤 井 新 吉
木製貯金箱	3	古川 史 朗
絵葉書類	63	山田 守 宗
足踏み式脱穀機	1	塚 原 鈞
磨製石斧	1	東 山

資料名	点数	作者名
関ヶ原合戦絵巻	1	
関ヶ原合戦布陣図	1	
和傘制作工程一式	1	
岐阜提灯制作工程一式	1	
能面制作工程一式	1	阿 部 毅
梅に叭々鳥	1	崔 州
岐阜県愛知県大地震実況	1	福田松次郎
木曾街道六拾九次之内 大久手	1	歌川 広 重
大日本物産図絵 飛騨国	2	三代歌川広重
幕末大坂場所相撲番付	1	
安政4年8月大坂場所相撲番付	1	
東海木曾両道中懐宝図鑑	1	須原屋茂兵衛
通行手形	1	
女通行手形	1	
西国三十三所観音	1	谷汲山華厳寺
西浦焼 吹絵鷺一輪挿花瓶	1	
再和派宗匠図	1	国枝魯松庵
国会議員百首	1	伊東洋二郎
現今英名百首	1	沼尻桂一郎
かわらばん	1	
西国三十三所観音霊場記図絵	1	
美濃国羽栗郡笠松村古文書類及絵図一括	1	
鶴図屏風	1	崔 州
明治四十四年開通記念中央線写真帳	1	
戦国太平記 建中官兵衛	1	歌川 国 芳
木曾街道六十九次 御影寺	1	三代歌川豊国

4 館蔵資料購入作品一覧

資料名	点数	作者名
諸国六十八景 美濃落合はし	1	二代歌川広重
徳川家茂上洛図	1	月 岡 芳 年
森蘭丸	1	歌 川 広 貞
六十余州名所図会 美濃 養老瀧	1	歌 川 広 重
鬼面山谷五郎	1	二代歌川国貞
大日本大相撲関取競	1	落 合 芳 幾
勳進大相撲図	1	二代歌川国貞
木曾街道六拾九次之内 赤坂	1	歌 川 広 重
青慕之駅御曹子乱賊切之図	1	歌 川 国 貞
帝国衆議院会議之図	1	島 田 延 一
瓦版 中山道御下向御休泊御本陣附	1	
官板 知藩事鑑	1	

[マルチメディア情報センター]

<ハイビジョンホール及びスタジオの活用>

ハイビジョンホールでは、博物館制作のマルチメディアソフト「ハイパーハイビジョン風土記」の紹介やハイビジョン映像の定期上映・博物館講座会場としての利用のほか、外部団体の見学や講習会・イベントなども積極的に受け入れ、そのサポートをしながら多様な活用を図った。

- ・風土記・環境映像・映画・BSハイビジョン放送
手づくり番組・中欧フェア番組 等の上映
- ・博物館講座・たのしい博物館 等
- ・特別展「恐竜時代」 開場式
- ・幼稚園・小学校の課外研修
- ・大学生のマルチメディア研修
- ・林政部・県文化財保護センター主催講座等
- ・その他 各種研修会、講演会

ハイビジョン映像の上映では、夏休み期間中、夏季特別展「恐竜時代」にあわせNHK放送番組「蘇れモンゴルの恐竜たち」を特別に借用して上映し、親子を中心に多数の来場者を得ることができた。

マルチメディアスタジオでは、20台のレファレンス装置を運用し、常時風土記映像の閲覧ができるよう整備を続けると共に、「県民情報ネットワーク端末」含め2台のインターネット端末を常時運用し、CD-ROM情報と共に来館者に利用していただいた。

<テレビ会議システム>

9月3日(金) 14:50~15:20

学校と社会教育施設との交流・連携を目的として牛牧小学校(本巣郡穂積町)との間で、テレビ会議システムによる遠隔授業・質疑応答を行った。穂積町の情報教育の実践研究授業として実施されたもので、博物館の紹介、学芸員の仕事、恐竜の化石などについて説明を行った。



テレビ会議システムを利用したのは今回が初めてであるが、これからは遠隔サービスが求められてくるので、こうした対応を今後も継続する必要がある。

<中央フェア関連番組上映>

中央ヨーロッパとのこれまでの交流の集大成を図るとともに、21世紀の交流に向けてのさらなるステップを築

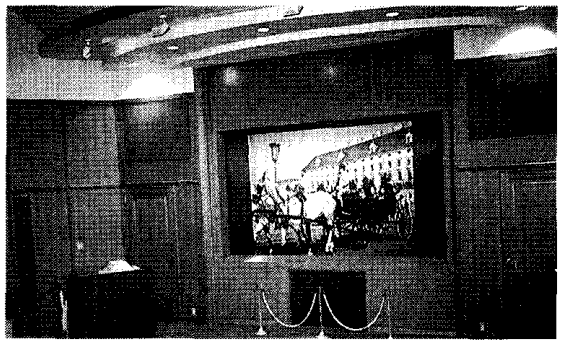
くため、ウエルカム21イベントとして全県で「中欧フェア」を実施中であるが、当館はその事業のひとつとして下記の「中央ヨーロッパフェア関連番組」をハイビジョンホールにて上映した。

[内容]

- ・オーストリア オーストリア (日本語解説)
- ・スロヴェニア Welcome to SLOVENIA (BGMのみ)
- ・チェコ共和国 GOLDEN PRAGUE (英語説明)

[上映期間]

平成12年2月12日～5月28日の毎週土・日曜日



<マルチメディア情報発信>

平成9年度より継続して、来館者へのインターネット利用環境を整備改善する一方、インターネットに公開する情報の更新・追加を行った。特に、

- ・企画展、マイミュージアムギャラリーの開催案内
- ・個々の催し物、行事などの紹介
- ・あいうえお順の索引ページ
- ・管理用所蔵資料システムをもとにした所蔵資料データベース
- ・ハイパーハイビジョン風土記「ひだ・みの紀行」の情報をもとにした風土情報データベース
- ・利用者情報取得機能

など順次情報ページの自主制作やシステム整備を行って内容の充実を努めた。情報閲覧の利用件数は平成11年度で約11,500件(昨年度の3割増し)と年々増加傾向にある。

また、ファイアウォールソフトの更新を実施し、近年話題に上がる不正アクセス事件に対する予防をより強固なものにした。さらに、西暦2000年問題に対応して機器全般にわたって動作の検証や点検を行い、不具合に対処することでトラブルなく運用を継続することができた。

岐阜県生涯学習センターを中心とした文部省委嘱事業「社会教育施設情報化・活性化推進事業」との連携は開始して3年目(最終年度)となり、今年度は当館の所蔵資料を対象に「岐阜県生涯学習総合システム(LLnet)」の共通索引システムへの登録を行った。この検索ページから岐阜県を対象に知りたい情報を検索すると、当館の該当データ画面にも直接つながるようになり、当館の発信情報の多面的な利用が期待される。

<マルチメディア工房・ぎふ>

岐阜県の情場づくりの一環で「マルチメディア工房・ぎふ」の第1号が平成7年10月1日に当館内にオープンした。県民のマルチメディアソフト制作支援の場として一般に開放している。

1. 工房の利用について

サポーターの協力を得て以下の活動を行った。

①高校生対象のハイビジョンマルチメディア制作講座を5～8月に計4回開催し、高校生11人（関高校6名、関商工高4名）・大学生（東海女子大学1名）計12名が参加し、作品の制作に取り組んだ。

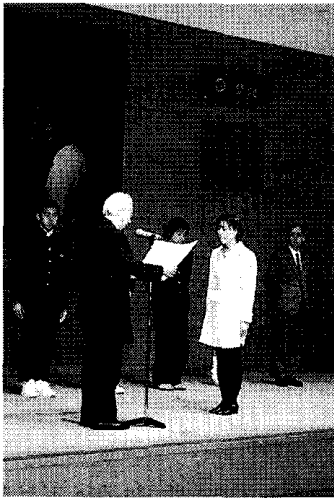
②同人・サポーター・マイミュージアムギャラリーの出演者の協力を得て、特別展の紹介番組・ギャラリー展示作品の記録番組等を制作するとともにデジタルデータとしての保存をしている。今年度は、特別展関係1作品、ギャラリー関係3作品を制作した。

2. ソフトコンテストについて

①H11.11/2第7回全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタのコンテストが大垣市情報工房シンクホールを会場に開催された。当館からは博物館講座を通し制作された関商工高校「関市にお引越し」と博物館制作作品「内山春雄が語るバードカービングの魅力」を出品した。博物館制作作品がすぐれた作品としてノミネートされ紹介上映をされたが、残念ながら受賞することはできなかった。（出品作品28作品、受賞作品8作品）

②H12.2/13第4回「マルチメディア工房・ぎふ」ソフトコンテストが未来会館で実施された。

当館からは同人森井健作氏制作の「小学国語教科書”今と昔”」とサポーター小垣香織氏制作の「土人形の世界～語りかける人形たち～」の2作品を出品した。小垣氏制作の「土人形の世界」が土人形制作のプロセスや歴史などがわかりやすいなど、高い評価を得て奨励賞を



受賞、森井氏の作品も博物館の作品として見応えがあるなど評価され努力賞を受賞した。（出品86作品 優秀賞2作品 奨励賞8作品 努力賞10作品）

<たのしい博物館>

マルチメディア関連として「マルチメディアで体験！恐竜の世界」など、3回開催した。恐竜など子供たちに人気のある内容の場合は特に参加者も多かった。また、「マルチメディアで再現！考古の世界」では初めて3D映像技術を利用、遺跡の立体映像を参加者に楽しんでもらった。

インターネット関連として、親子を対象にしてクイズやゲームを通して、インターネットに楽しく親しめるものと、女性を対象にインターネットを通して趣味の世界を広げるきっかけになる内容で各1回ずつ開催した。参加者も多く、女性対象の内容では昨年実施したメール操作を省き、より多くのホームページにアクセスしていただき参加者には好評だった。



<博物館講座>

静止画番組制作講座：高校生以上を対象に講座を開催したが、今年度新たに大学生1名（東海女子大）の参加があった。講座が4日間のみでは、作品制作には不十分であり、また、学校行事・試験等の関係で参加できない場合もあった。来年度は開講日をさらに増やす予定である。

ホームページ制作講座：熟年の夫婦の参加があり、女性の参加者も増えた。当館のコンピュータの操作に慣れない参加者もいたが、実際にホームページ立ち上げを目標とされた参加者もいた。講座の日のみでは制作時間が足りないため、昨年度の反省から講座と講座の間に時間を設けたが、実際に制作活動に来館された方はいなかった。

平成11年度マルチメディア工房制作番組一覧表

①特別展「恐竜時代」	8' 40"	県博物館	特別展「恐竜時代」紹介番組
②ベルギーの画家アンソール・ルネ	8' 10"	東海女子大生	アンソール・ルネと彼の作品の紹介
③関市にお引越し	7' 10"	関商工高生徒	関市で有名な刀鍛冶、鶴飼い、寺社等名所を紹介。
④内山春雄が語るバードカービングの魅力	9' 50"	博物館	世界大会入賞作品やその魅力について紹介（ギャラリー関連番組）
⑤土人形の世界	9' 59"	博物館・サポーター	土人形の歴史、何うことのできる風俗・背景の紹介（ギャラリー関連番組）
⑥小学国語教科書”今と昔”	9' 59"	博物館・同人	（第4回 マルチメディア工房・ぎふソフトコンテスト 奨励賞受賞） 明治から現代までの小学校国語教科書を紹介（ギャラリー関連番組） （第4回 マルチメディア工房・ぎふソフトコンテスト 努力賞受賞）

【教育普及活動】

1 概要

岐阜県博物館が生涯学習の場として、幼児から高齢者まで親しんでいただくために、事業の内容の量を増やすとともに工夫に力を入れ、積極的に広報活動に努め、入館者には案内や解説の充実を図るなどした。11年度の主な事業は、特別展(2回)、資料紹介展(1回)、特別陳列(2回)、写真展(1回)、(財)岐阜県文化財保護センター主催の発掘速報展(1回)、マイミュージアムギャラリー展示(8回)の他、特別行事・講演会・講座・自然観察会など年間67回の催しものを実施した。その他、ギャラリー出展者が記念講演会・展示説明会・試乗会などを自主的に行い、総事業数は80回を超えた。

展示では、「ハンズ・オン」を積極的に取り入れ、恐竜の実物化石や復元制作した祭りの道具などを用意した。催しものでは、体験学習を多く取り入れた。

また、展示をより効果的にみていただくため、案内や解説の充実、資料の作成に努めた。

2 教育活動

(1) 催しもの

催しものは、講演会(6回)、博物館講座(15回)、自然観察会(10回)、たのしい博物館(31回)、特別行事(5回)など計67であった。

11年度の催しもの主な活動概要は次の通りである。体験学習を重視し、多く取り入れた。「恐竜ナイトツアー」・「化石をつくろう」・「化石をさがそう」や「火起こし器をつくろう」・「徳山のくらしを体験しよう」・「昔のくらしを体験しよう」などは、特に大好評であった。

マルチメディア情報センターとしての機能を生かす内容の充実を図った。「ハイビジョンソフト制作講座」(4回)・「ホームページ制作講座」(3回)の連続講座やマルチメディアに親しむ催しものを5回実施し、マルチメディアへの関心を高めることができた。

特別行事「七草がゆを食べよう」は、大変多くの参加者があった。季節感あふれる古来からの伝統行事への人々の関心が高くなったこと、新聞やテレビで大きく取り上げられたこと、さらには友の会ボランティアの多大なる援助によって、博物館の特色ある事業として定着している。

また、百年公園事務所と共催の「写生大会」や高校の協力のもとで実施した「響け！和太鼓」には、多くの方が参加され、好評であった。

(2) 館内解説

特別展・資料紹介展や常設展の展示解説を積極的に行い、入館者に好評を博した。

特別展「恐竜時代」・「水とまつり」では、土・日曜日を中心に担当者が定期的な解説を実施した。また、解説員が入館者の希望に応じて、解説をした。2月からは、常設展示についても、解説員の定例解説を実施した。たのしい博物館「楽しいインターネット」や「マルチメディアで探検！恐竜の世界」などでは事業運営や機器使用解説を積極的に行った。

社会見学で入館した学校には、学校の要望に合った解説・案内を行った。

さらに、博物館展示解説「ワンポイントガイド」や特別展・資料紹介展のクイズを作成し、来館者に配布した。

(3) 館案内

博物館に入館した方にスムーズにみていただくため、職員一同、案内表示の工夫に努めるとともに、解説員・学芸部長・普及係が極力、館内を巡視するようにした。

3月からは、本館2階のカウンターに解説員が常駐し、入館者への案内に努めることを開始した。

(4) 博物館における学校等の研修

学校・社会教育機関等の授業や研修に関わって学芸員が指導・援助、講話をした。

- ・小中学校体験学習・・・金竜小・倉知小・旭ヶ丘小・安桜小・下有知小・神が小・大和町第一北小・小金田中・桜ヶ丘中・愛知県新香山中等の学校
- ・マルチメディア研修・・・名城大学・県高校地理研究会・県警察学校等
- ・博物館全館研修・・・県下都市教育長会・関市校長会・岐阜市教頭会・県小社研・県高教研/公民・地歴部会・県高校特殊初任研修会・跡見学園女子大学博物館学芸員課程実習生・林業センター研修・関市女性連絡協議会・浜松市美術館友の会・氷見市友好市民訪問団等

3 広報活動

より多くの方に、博物館に親しんでいただくためには、展示や催しものの周知を図ることが重要である。そのため、以下のことに力を注いだ。

- ・新聞・テレビ・ラジオ・雑誌などのマスコミに対して情報提供を積極的に行った。
- ・人が多く集まる施設にポスター・チラシの掲出依頼を積極的に行った。
- ・児童・生徒に合ったチラシ・案内文書を作成し、関市内及び近隣の学校に配布した。
- ・関市自治会員へのチラシ・案内文書回覧を7回行った。こうした努力が、入館者の増につながった。

4 博物館実習生指導

8月2日(月)から8月6日(金)までの5日間、東海女子大学(6名)・岐阜女子大学(3名)・岐阜大学(3名)・信州大学(1名)・金沢大学(1名)・滋賀県立大学(1名)・名古屋女子大学(1名)・愛知学院大学(1名)・中京女子大学(1名)・名城大学(6名)の10大学から24名の学生を受け入れ、実習生指導を館長・学芸部長をはじめ、学芸部職員全員で行った。

本年度は、共通実習を3日間、選択分野別実習を2日間行い、実習生の専門性を生かした実習を行うことができた。

5 資料の貸し出し

分野	機関名	資料名	期間(年月日)	点数
人	岐阜市歴史博物館	車掌用靴	H11・7・22～	1
		職員制服	H11・8・31	2
	奈良県美術館	紺地白鷺文繡狩衣	H11・10・5～ H11・11・25	1
	笠松町歴史民俗資料館	岐阜県議会投票箱・小学 国語読本・写真パネル等	H11・10・14～ H11・12・3	8
	岐阜市歴史博物館	カンテラ・上げ舟・ヨ ツデアミ・ダイホン他1	H11・10・11～ H11・11・30	5
文	個人	能面の写真	H12・1・5～ H12・1・19	13
	可見郷土歴史館	円満寺山古墳出土品	H12・2・8～ H12・3・21	11
白	岐阜市立青山中学校	哺乳類頭骨標本	H11・5・13～ H11・6・5	16
	武儀町立上之保中学校	タヌキ骨格	H11・6・3～ H11・6・20	1
	武儀町立上之保中学校	キセキレイ・セグロ セキレイの剥製他1	H11・6・12～ H11・6・20	3
	タリイピアセンター	マツノマダラカミキ リハリヨのスライド	H11・2・17～ H11・3・31	16
	宮崎県総合博物館	好石灰岩植物標本 とレプリカ	H11・7・9～ H11・9・10	7
然	岐南町図書館	伊吹の葉草標本・ パネル	H11・7・28～ H11・8・31	54
	大垣市農務課	葉草パネル・標 本・レプリカ	H11・8・2～ H11・8・10	34
	VRテクノセンター	化石標本	H11・8・8～ H11・8・13	10
	可見市立東可見中学校	化石標本	H11・8・16～ H11・8・20	10

7 平成11年度刊行物一覽

名 称	発行年月日	判、頁	部 数	備 考
岐阜県博物館だより 第68号	11. 4. 1	A 4 4頁	2, 500	友の会増刷(500)
岐阜県博物館だより 第69号	11. 7. 1	A 4 4頁	2, 500	友の会増刷(350)
岐阜県博物館だより 第70号	11. 10. 1	A 4 4頁	2, 500	友の会増刷(350)
岐阜県博物館報 第22号	11. 4. 1	A 4 38頁	1, 200	
平成11年度 岐阜県博物館催しもの案内(A2判)	11. 4. 1	A 2 3	3, 000	
平成11年度 岐阜県博物館催しもの案内(A4判)	11. 4. 1	A 4 3ツ折	40, 000	
博物館パンフレット	12. 3. 31		100, 000	
博物館リーフレット	11. 4. 1	A 4 8頁	5, 000	
リーフレット「インターネットをたのしもう」	12. 3. 31	A 4 3ツ折	5, 000	
岐阜県博物館調査報告, Vol.21	12. 3. 31	A 4 46頁	700	
特別展図録				友の会増刷
恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～	11. 7. 16	A 4 27頁	600	(2, 000)
水とまつり～古代人の祈り～	11. 10. 5	A 4 60頁	600	(1, 000)
特別展図録の増刷				友の会増刷
円空さんと私	11. 10. 1	A 4 51頁	0	(1, 000)
美濃山地の自然	12. 2. 1	B 5 43頁	0	(500)
川に生きる	12. 3. 1	B 5 45頁	0	(500)
特別展等のポスター・ちらし				
恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～ポスター	11. 6. 10	B 2	2, 000	
恐竜時代～モンゴルと手取層群の恐竜たち～ちらし	11. 6. 10	A 4	25, 000	
水とまつり～古代人の祈り～ポスター	11. 9. 4	B 2	2, 000	
水とまつり～古代人の祈り～ちらし	11. 9. 4	A 4	25, 000	
資料紹介展・特別陳列のパンフレット・冊子				
井波コレクション ポスター	11. 4. 5	B 2	2, 000	
井波コレクション ちらし	11. 4. 5	A 4	25, 000	
ふるさとの文化財紹介展 ポスター	11. 5. 20	B 2	2, 000	
ふるさとの文化財紹介展 ちらし	11. 5. 20	A 4	15, 000	
円空展 ポスター	11. 10. 15	B 2	2, 000	
円空展 ちらし	11. 10. 15	A 4	20, 000	友の会印刷
写真展 ちらし	11. 11. 25	A 4	0	(7, 000)
マイ・ミュージアム刊行物				
マイ・コレクション第31号	11. 4. 4	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第32号	11. 5. 11	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第33号	11. 6. 27	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第34号	11. 8. 8	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第35号	11. 9. 26	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第36号	11. 11. 14	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第37号	12. 1. 5	A 4 4頁	1, 000	
マイ・コレクション第38号	12. 2. 12	A 4 4頁	1, 000	
マイミュージアムギャラリー ポスター	11. 4. 1	B 2	1, 000	
マイミュージアムギャラリー ちらし	11. 4. 1	A 4	10, 000	
マイミュージアムギャラリー DMハガキ	11. 4. 1	ハガキ	10, 000	

分野	機 関 名	資 料 名	期 間 (年 月 日)	点 数
白	岐阜市立鷺山小学校	パネル	H11・10・9～ H11・11・21	13
	北方町立北方小学校	マガンの剥製 ハヤブサの剥製	H11・10・23～ H11・11・3	1 1
	アマチュア学者フェスティバル実行委員会	葉草パネル・標 本・レプリカ	H11・10・25～ H11・11・3	60
	小森孝子	鳥類写真	H11・11・1～ H11・11・30	6
	中理研県大会	パネル	H11・11・5～ H11・11・9	98
	笠松町歴史民俗資料館	ウサギの剥製	H11・12・17～ H12・2・17	2
	関市立田原小学校	化石標本	H11・11・29～ H11・12・6	3
	関市立桜ヶ丘小学校	カラスの剥製	H12・1・30～ H12・2・25	2
	岐阜県教育委員会 会学校指導課	生物の写真・スライド	H12・1・31～ H12・3・22	52
	岐阜大学附属 中学校	化石観察セット	H12・2・12～ H12・2・18	2
然	岐阜大学附属 中学校	化石観察セット	H12・2・25～ H12・3・5	2

6 図書資料

平成11年度現在の図書資料数は、下記の通りである。

	図書資料数 (平成12年3月20日現在)	備 考
人文関係	13, 317	含刀剣文庫
自然関係	10, 083	含棚橋文庫・熊田文庫
統 計	23, 400	

平成11年度の催しもの結果一覧

事業名	期日	対象	定員	内容	参加人員
特別展講演会	7/18	一般		モンゴル恐竜最前線 アカデミー古生物学センター所長 リンチェン・バルスボルドさん	150
	8/15	一般		手取層群とアジアの恐竜 福井県立博物館総括学芸員 東洋一さん	145
	11/7	一般		水と古代王権 同志社大学歴史資料館学芸員 辰巳和広さん	83
特別展講演会 文化講演会	10/24	一般		水辺の祭祀 三重大学名誉教授 八賀晋さん	96
記念講演会	1/23 2/20	一般		アマゾンに体験記 各務原市立緑苑小学校校長 金武藤宏秋さん 鏡に映る濃縮の古墳 務原市立緑苑小学校校長 金武藤宏秋さん	25 214
博物館講座	5/30	高校生以上	8	ハ自八飛飛ハハ自白岐写ホホマ	14
	6/6	高校生以上	8	ハ自八飛飛ハハ自白岐写ホホマ	21
	6/12	高校生以上	8	ハ自八飛飛ハハ自白岐写ホホマ	14
	6/13	高校生以上	8	ハ自八飛飛ハハ自白岐写ホホマ	36
	6/27	高校生以上	8	ハ自八飛飛ハハ自白岐写ホホマ	23
自然観察会	5/6	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	11
	5/10	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	12
	5/15	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	5/19	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	5/23	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	5/26	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	5/29	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/2	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/5	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/9	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/12	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/15	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/19	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/23	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
	6/26	親子	30	ワワワワワワワワワワワワワワワワ	19
たのしい博物館	4/18	小学生以上	20	観火春親親観ク	6
	4/22	小学生以上	20	観火春親親観ク	39
	4/23	小学生以上	20	観火春親親観ク	33
	4/27	小学生以上	20	観火春親親観ク	30
	4/30	小学生以上	20	観火春親親観ク	9
	5/4	小学生以上	20	観火春親親観ク	32
	5/10	小学生以上	20	観火春親親観ク	74
	5/11	小学生以上	20	観火春親親観ク	38
	5/14	小学生以上	20	観火春親親観ク	47
	5/18	小学生以上	20	観火春親親観ク	39
	5/21	小学生以上	20	観火春親親観ク	35
	5/24	小学生以上	20	観火春親親観ク	21
	5/28	小学生以上	20	観火春親親観ク	39
	5/31	小学生以上	20	観火春親親観ク	106
	特別行事	4/29	一般	300	グ響呂岐岐ヒ
5/5		一般	400	グ響呂岐岐ヒ	474
5/11		一般	400	グ響呂岐岐ヒ	426
5/13		一般	400	グ響呂岐岐ヒ	72
5/14		一般	400	グ響呂岐岐ヒ	50
5/17		一般	300	グ響呂岐岐ヒ	284

事業名	実施期間	主な内容	観覧人員
春休み	4月1日(木)～7日(水)	・忍たま乱太郎・シ・ユラシックパーク・世界遺産の村・原爆ドーム等上映	535
夏休み ハイビジョン特別番組の上映	7月20日(火)～ 8月31日(火)	・すばるが拓く深宇宙の世界・スペースアート宇宙の藤・銀河の魚・驚異の大地モニュメントパレ ・蘇えれゴビ 砂漠の恐竜たち・シ・ユラシックパーク等上映	23,406

【図書資料寄贈者芳名一覧】

(平成11年3月1日～
平成12年2月29日) (順序不同)

【博物館関係】

国立歴史民俗博物館
東京国立博物館
国立科学博物館
科学技術館
東京国立近代美術館
国立科学博物館附属自然教育園
京都国立博物館
国立民族学博物館
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館
北海道開拓の村
北海道開拓記念館
北海道立北方民族博物館
小樽市博物館
釧路市立博物館
苫小牧市博物館
斜里町立知床博物館
中川町郷土資料館
市立函館博物館
根室市博物館開設準備室
上士幌町ひがし大雪博物館
穂別町立博物館
利尻町立博物館
青森県立郷土館
八戸市博物館
岩手県立博物館
北上市立鬼の館
仙台市博物館
仙台市科学館
仙台市富沢遺跡保存館
斎藤報恩会自然史博物館
宮城県慶長使節船ミュージアム
東北歴史資料館
東北歴史博物館
地底の森ミュージアム
秋田県立博物館
山形県立博物館
致道博物館
県立うきたむ風土記の丘考古資料館
福島県立博物館
福島県歴史資料館
会津民俗館
三春町歴史民俗資料館
茨城県立歴史館
上浦市立博物館
日立市郷土博物館
上高津貝塚ふるさと歴史の広場
ミュージアムパーク茨城県自然博物館
栃木県立博物館
小山市立博物館
栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
群馬県立歴史博物館
群馬県立近代美術館
大間々町歴史民俗館 (コノドント館)
富岡市立美術館
群馬県立自然史博物館
かみつけの里博物館
浦和市立郷土博物館
埼玉県立博物館
埼玉県立歴史資料館
埼玉県立さいたま資料館
戸田市立郷土博物館
さいたま川の博物館
埼玉県立自然史博物館

千葉県立中央博物館
千葉県立美術館
我孫子市鳥の博物館
市立市川考古博物館
市立市川自然博物館
千葉市加曾利貝塚博物館
千葉県立現代産業科学館
千葉県立大根博物館
千葉県立上総博物館
千葉県立安房博物館
千葉県立房総風土記の丘
千葉県立房総のむら
千葉県立関宿城博物館
千葉市美術館
衆議院憲政記念館
松涛美術館
足立区立郷土博物館
船橋区立郷土資料館
大田区立郷土博物館
紙の博物館
船の科学館
たばこと塩の博物館
東京都江戸東京博物館
町田市立博物館
世田谷区立郷土資料館
家具の博物館
豊島区立郷土資料館
三井文庫
北区飛鳥山博物館
港区立港郷土資料館
サントリー美術館
江戸東京たてもの園
調布市郷土博物館
府中市郷土の森博物館
東京都高尾自然科学博物館
福生市郷土資料館
千代田区立四番歴史民俗資料館
府中市美術館開設準備室
シルク博物館
神奈川県立歴史博物館
神奈川県立金沢文庫
馬の博物館
横浜マリタイムミュージアム
横浜市歴史博物館
川崎市市民ミュージアム
神奈川県立生命の星・地球博物館
平塚市博物館
茅ヶ崎市文化資料館
鎌倉国宝館
横須賀市自然人文博物館
川崎市立日本民家園
山口蓮春記念館
山梨県立科学館
山梨県立考古博物館
松本市立博物館
日本民俗資料館
長野市立博物館
長野県立歴史館
さらしなの里歴史資料館
飯田市美術館
飯田市上郷考古博物館
真田宝物館
山と博物館
須坂市立博物館
信濃町立野尻湖ナウマンゾウ博物館
塩尻市立平出博物館
市立岡谷美術考古館
市立岡谷蚕糸博物館
信州新町化石館

富士見町博物館
柏崎市立博物館
長岡市立科学博物館
新潟県立近代美術館
新潟県立歴史博物館
富山市籾牛人記念美術館
富山市郷土博物館
富山市科学文化センター
魚津水族館
富山県立立山博物館
富山市民芸館
松任市立博物館
立山カルデラ砂防博物館
石川県立歴史博物館
石川県立美術館
石川県輪島漆芸美術館
小松市立博物館
のと海洋ふれあいセンター
石川県白山自然保護センター
福井市立若狭歴史民俗資料館
福井県立博物館
福井市自然史博物館
福井県自然保護センター
福井県立一乗倉氏遺跡資料館
敦賀市立博物館
静岡県立美術館
静岡市立登呂博物館
東海大学海洋科学博物館
上原仏教美術振興財団
久能山東照宮博物館
沼津歴史民俗資料館
沼津市明治史料館
浜松市博物館
焼津市歴史民俗資料館
浜松市楽器博物館
愛知県美術館
愛知芸術文化センター
徳川美術館
熱田神宮宝物館
名古屋博物館
名古屋市立市政資料館
名古屋科学館
名古屋美術館
でんきの科学館
名古屋市見晴台考古資料館
一宮市博物館
博物館明治村
リトルワールド
瀬戸市歴史民俗資料館
日本モンキーセンター
愛知県陶磁資料館
豊田市郷土資料館
豊田市美術館
豊橋市美術館
豊橋市自然史博物館
豊橋市二川宿本陣資料館
豊橋市地下資源館
岡崎市郷土資料館
岡崎市美術博物館
安城市歴史博物館
知立市歴史民俗資料館
知多市歴史民俗博物館
半田市立博物館
尾西市歴史民俗資料館
メナード美術館
碧南市青少年海の科学館
トヨタ博物館
名古屋ボストン美術館
松坂屋美術館

大口町歴史民俗資料館
蟹江町歴史民俗資料館
鳳来町鳳来寺山自然科学博物館
産業技術記念館
三重県立博物館
御在所自然科学博物館・日本カモシカセンター
四日市市立博物館
神宮徴古館農業館
桑名市博物館
海の博物館
鳥羽水族館
亀山市歴史博物館
斎宮歴史博物館
藤原岳自然科学館
大津市歴史博物館
滋賀県立琵琶湖文化館
滋賀県立琵琶湖博物館
彦根城博物館
滋賀県立安土城考古博物館
滋賀県立陶芸の森
市立長浜城歴史博物館
MIHO MUSEUM
野洲町立歴史民俗資料館
伊吹山文化資料館
栗東歴史民俗博物館
裏千家センター茶道資料館
京都市考古資料館
京都府立総合資料館
京都文化博物館
霊山歴史館
京都府立丹後郷土資料館
大阪市立博物館
大阪市立美術館
大阪市立科学館
大阪市立自然歴史博物館
大阪人権博物館
大丸ミュージアム
吹田市立博物館
大阪府立弥生文化博物館
柏原市立歴史資料館
岸和田市立郷土資料館
大阪府立近つ飛鳥博物館
東大阪市立郷土博物館
神戸市立博物館
神戸海洋博物館
神戸市立小磯記念美術館
兵庫県立歴史博物館
兵庫県立近代美術館
姫路市立美術館
西宮市大谷記念美術館
明石市文化博物館
尼崎歴史博物館準備室
兵庫県立人と自然の博物館
大和文華館
県立橿原考古学研究所附属博物館
奈良県立民俗博物館
奈良県立美術館
橿原市千塚資料館
松伯美術館
和歌山県立博物館
和歌山県立自然博物館
田部美術館
鳥根県立博物館
足立美術館
岡山県立博物館
岡山県立美術館
岡山県立吉備路郷土館
岡山市立オリエント美術館
津山洋学資料館

倉敷市立自然史博物館
広島市安佐動物公園
広島県立美術館
広島県立歴史博物館
日本はきもの博物館・郷土玩具博物館
広島市森林公園昆虫館
広島城
土井ヶ浜遺跡人類学ミュージアム
下関市立考古博物館
宮島町立宮島歴史民俗資料館
新市町立歴史民俗資料館
巖島神社社務所
山口県立山口博物館
防府市青少年科学館
美祿市歴史民俗資料館
耕三寺博物館
秋吉台科学博物館
徳島県立博物館
徳島市立徳島城博物館
高松市歴史資料館
香川県自然科学館
愛媛県立博物館
愛媛県総合科学博物館
愛媛県歴史文化博物館
高知市立自由民権記念館
高知市立歴史民俗資料館
福岡市美術館
福岡市博物館
福岡県青少年科学館
甘木歴史資料館
北九州市立歴史博物館
北九州市立考古博物館
北九州市立自然史博物館
九州歴史資料館
佐賀県立博物館／美術館
佐賀県立名護屋城博物館
長崎県立美術館
熊本県立熊本博物館
熊本県立装飾古墳館
八代市立博物館未来の森ミュージアム
宇佐風土記の丘民俗資料館
大分県先哲史料館
宮崎県総合博物館
みやざき歴史文化館
椎葉民俗芸能博物館
鹿児島県立博物館
鹿児島市立美術館
鹿児島県歴史資料センター黎明館
ミュージアム知覧
沖縄県立博物館
名護博物館
岐阜県博物館
岐阜県歴史資料館
岐阜県美術館
岐阜県図書館
岐阜町歴史民俗資料館
笠松町歴史民俗資料館
大垣市立図書館
岐阜県陶磁資料館
岐阜市歴史博物館
岐阜市科学館
加藤栄三・東一記念館
大松美術館
かかみがはら航空宇宙博物館
各務原市歴史民俗資料館
内藤記念くすり博物館
森の文化博物館
大垣市歴史民俗資料館
河川環境楽園
タレイピアセンター
美濃和紙の里会館
海津町歴史民俗資料館

可見郷土資料館
瑞浪市化石博物館
土岐市美濃陶磁歴史館
中山道みたけ館
瑞浪市陶磁資料館
ミュージアム中仙道
中津川市鉱物博物館
飛騨の山椎館
高山市郷土館
光記念館
日本最古の石博物館

【博物館協会】

日本博物館協会
岐阜県博物館協会
下葉県博物館協会
神奈川県博物館協会
鳥取県博物館協会
全国科学博物館協議会
東京都博物館協議会
デジタル・ミュージアム推進協議会
ハイビジョンミュージアム推進協議会
東海地区科学施設協議会
全日本博物館学会
日本ミュージアム・マネージメント学会

【役所関係】

青森県環境生活部県史編さん室
福島県児童文化センター
群馬県農政部蚕糸課
下葉県文書館 県史編さん室
総務庁青少年対策本部
文化庁書陵部
文部省大臣官房
宮内庁
日本財団
科学技術広報財団
科学技術庁
環境庁自然保護局
環境事業団
日本環境協会
日本科学協会
東京都教育庁生涯学習部文化課
文化庁文化財保護部
日本科学技術振興財団
科学技術振興事業団
日本原子力文化振興財団
宇宙開発事業団
文化財建造物保存技術協会
愛知県総務部県史編さん室
名古屋植物防疫所
豊橋市環境部環境政策課
建設省中部地方建設局
中部森林管理局名古屋分局
木曾川下流工事事務所
木曾川上流工事事務所
香川県自然保護室
岐阜県総務部
岐阜県企画部
岐阜県農政部
岐阜県衛生環境部
岐阜県保健環境研究所
岐阜県工業技術センター
岐阜県上芸試験場
岐阜県農業総合研究センター
岐阜県水産試験場
岐阜県国際センター
岐阜県広報センター
岐阜県科学技術振興センター
岐阜県生活技術研究所
岐阜県デザイン振興会
岐阜県研究開発財団

岐阜県ふれあい会館
花の都ぎふ推進センター
岐阜県産業文化振興事業団
オリベイズム産業文化振興連合会
岐阜県スポーツ振興事業団
岐阜県冷凍教育検査事務所
岐阜県砂防協会
世界民俗文化センター
岐阜市文化センター
岐阜県産業経済研究センター
岐阜県企画設計センター
高山市商工観光部
土岐市企画部総合政策課
大垣市文化事業団
武儀県事務所
飛騨教育事務所
武儀改良普及センター
高富町役場
藤橋村役場
可見市役所
山岡町役場
平田町役場
関市役所
萩原町役場
土岐市役所
古川町役場
宮村役場
上宝村役場
川島町役場
大垣市立図書館
大垣市文化会館
美濃市文化会館
多治見市文化会館
各務原市民会館
関文化会館
岐阜簡易保険事務センター
ソフピアジャパン
スイピアセンター

【教育委員会関係】

北海道教育庁生涯学習部文化課
白老町教育委員会
青森県教育委員会
甘藷町教育委員会
福生市教育委員会
大田区教育委員会
渋谷区教育委員会
神奈川県教育委員会
厚木市教育委員会
南木曾町教育委員会
長野市教育委員会
門前町教育委員会
静岡県教育委員会
春日井市教育委員会
名古屋市教育委員会
豊橋市教育委員会
伊勢市教育委員会
四日市市教育委員会
津市教育委員会
亀山市教育委員会
安濃町教育委員会
多度町教育委員会
近江町教育委員会
滋賀県教育委員会
日野町教育委員会
能登川町教育委員会
マキノ町教育委員会
京都市教育委員会
京田辺市教育委員会
大阪府教育委員会
大阪市教育委員会
尾崎市教育委員会

姫路市教育委員会
奈良県教育委員会
播磨市教育委員会
福岡県教育庁総務部
甘木市教育委員会
岐阜県教育委員会
岐阜市教育委員会
岐阜県教育センター
岐阜県情報処理教育センター
グリーンテックセンター
岐阜メモリアルセンター
岐阜県生涯学習センター
羽島郡四町教育委員会
各務原市教育委員会
大垣市教育委員会
大野町教育委員会
平田町教育委員会
関市教育委員会
池田町教育委員会
美濃市教育委員会
美濃加茂市教育委員会
白鳥町教育委員会
美並町教育委員会
可見市教育委員会
兼山町教育委員会
多治見市教育委員会
恵那市教育委員会
岩村町教育委員会
高山市教育委員会
小坂町教育委員会
金山町教育委員会
丹生川村教育委員会
宮村教育委員会
下呂町教育委員会
糸貫町教育委員会
馬瀬村教育委員会
清見村教育委員会
白川村教育委員会
関ヶ原青少年自然の家
御嶽少年自然の家
岐阜市少年自然の家
岐阜県高等学校教育研究会
岐阜県小中学校長
岐阜教育会
岐阜県高等学校長協会
岐阜県PTA連合会
岐阜県郷土資料研究協議会
岐阜県高等学校生物教育研究会
岐阜県高等学校地理教育研究会
岐阜県高等学校文化連盟
岐阜県高等学校文化連盟自然科学部会
岐阜県高等学校退職校長会

【学校関係】

秋田大学工学資源学部附属鉱業博物館
東北芸術工科大学東北文化研究センター
東北大学総合学術博物館
東北大学文学部東洋・日本美術史研究室
山形大学附属博物館
筑波大学歴史人類学系
筑波大学地球科学系
図書館情報大学附属図書館
跡見学園女子大学花咲記念資料館
川村学園女子大学図書館
東京大学史料編纂所
東京大学出版会
東京大学総合研究博物館
学習院大学
國學院高等学校
東京農工大学附属繊維博物館
実践女子大学博物館学研究室
国際基督教大学湯浅八郎記念館

明治大学学芸員養成課程
立教大学学芸員課程研究室
東京大学地震研究所
多摩美術大学美術学部
武蔵野美術大学
早稲田大学博物館
国学院大学考古学資料館
東京農業大学農業資料室
国学院大学博物館学研究室
日本大学文学部自然科学研究所
日本大学生物資源学部
明治大学博物館
東京家政学院生活文化博物館
神奈川大学日本常民文化研究所
東海大学校地内遺跡調査団
帝京大学山梨文化財研究所
新潟大学理学部地質学教室図書館
金沢美術工芸大学図書館
金沢大学国際交流課
静岡大学理学部地球学教室
東海大学海洋科学博物館
東海大学社会教育センター
南山大学人類学博物館
名古屋大学文学部美学美術史研究室
名古屋大学大気水圏科学研究所
名古屋大学古川総合研究資料館
名古屋女子大学短期大学部美術研究室
名都学園大学人文学科研究会
名古屋経済大学・市邨学園短期大学
自然科学研究会
名古屋経済大学・市邨学園短期大学
学術研究センター
名古屋造形芸術大学附属図書館
愛知大学総合郷土研究所
愛知大学文学會
滋賀県立大学人間文化学部
種智院大学密教資料研究所
京都工芸繊維大学美術工芸資料館
京都橋女子大学
立命館大学国際平和ミュージアム
仏教大学総合研究所
仏教大学文学部
同志社大学博物館学芸員課程
関西大学博物館
大阪大学文学部考古学研究室
大阪音楽大学附属楽器博物館
近畿大学民俗学研究所
天理大学附属天理参考館
九州産業大学芸術学会
岐阜北高等学校
可见高等学校
関市立関商工高等学校
岐阜大学教育学部
岐阜薬科大学
岐阜市立女子短期大学
東海女子大学
岐阜聖徳学園大学
中部学院大学
岐阜聖徳学園大学短期学部
岐阜経済大学
中部女子短期大学
大垣女子短期大学
岐阜医療技術短期大学
放送大学
地方自治大学校

〔研究機関・出版社・その他〕

東京国立文化財研究所
宮内庁書陵部
宮内庁正倉院事務所
奈良国立文化財研究所
アイヌ文化振興・研究推進機構

北海道立アイヌ民族文化研究センター
青森県埋蔵文化財調査センター
東北電力
福島市児童文化センター
地質調査所
群馬県埋蔵文化財調査事業団
松井田町遺跡調査会
埼玉県立民俗文化センター
千葉県文化財センター
山武考古学研究所
国立教育会館社会教育研修所
リモート・センシング技術センター
日本水産資源保護協会
板橋区四葉遺跡調査会
都内第二遺跡調査会
墨田区横川一丁目遺跡調査会
東京都南部住宅建設事務所
都営川越道住宅遺跡調査会
文化環境研究所
山武ハネウエル
発明協会
毎日企画サービス
黄金のシルクロード展実行委員会
日本ユネスコ協会連盟
日本昆虫協会
高度映像情報センター
日本地震学会
機械産業記念事業団
国画会事務局
自然環境センター
平和祈念事業特別基金
バルテノン多摩
農山漁村文化協会
日本自然科学写真協会
美術倶楽部
日本科学協会
ポーラ文化研究所
都立学校遺跡調査会
日本ナショナルトラスト
東京貝類同好会
センチュリーミュージアム
丹精総合研究所・文化空間研究所
マルチメディア振興センター
アジア女性基金
地域創造
西国分寺地区遺跡調査会
東京都埋蔵文化財センター
武蔵国分寺関連遺跡調査会
府中病院内遺跡調査会
神奈川県埋蔵文化財センター
玉川文化財研究所
川崎市立日本民家園
平岡環境科学研究所
神奈川県東海道路ルネッサンス推進協議会
武相文化財研究所
松本大久保台遺跡調査団
神奈川県立自然保護センター
松代藩文化施設管理事務所
富山県埋蔵文化財調査事務所
富山県埋蔵文化財センター
石川県白山自然保護センター
鴻池観察館
静岡県埋蔵文化財調査研究所
生物多様性センター
三好町文化振興協会
愛知県埋蔵文化財センター
愛知県文化振興事業団
中部建設協会
行動と文化研究会
考古学フォーラム
瀬戸市埋蔵文化財センター
津市埋蔵文化財センター

神宮文庫
四日市市遺跡調査会
三重自然誌の会
三重動物学会
滋賀県埋蔵文化財センター
滋賀民俗学会
日本イヌワシ研究会
中信美術奨励基金
坂田郡社会教育文化財部会
京都科学
国民融合をめざす部落問題全国会議
古代学協会
千里国際情報事業財団
名神高速道路内遺跡調査会
国際日本文化研究センター
日本生命財団
神戸市埋蔵文化財センター
クボタ
黒川古文化研究所
国際美術
ユネスコ・アジア文化センター
元興寺文化財研究所
シルクロード学研究所
和歌山県文化財センター
岡山県自然保護センター
(株)林原共済会
香川県埋蔵文化財調査センター
広島市文化財団
熊平製作所
徳島県埋蔵文化財センター
福岡市埋蔵文化財センター
原の辻遺跡調査事務所
岐阜県博物館友の会
岐阜県文化財保護協会
岐阜県文化財保護センター
岐阜コンベンション・ビューロー
岐阜中央郵便局
長良川国際会議場
岐阜県歴史資料保存会
岐阜県郷土資料研究協議会
世界文化村きふ運営協議会
岐阜市教育文化振興事業団
創価学会岐阜県広報部
慈壽研究会
各務原市埋蔵文化財調査センター
日本教育会
岐阜県昆虫同好会
養老文化財保護協会
大垣市文教協会
神昌寺史編纂委員会
中山道歴史資料保存会
岐阜県民主同和促進協議会
東海地理研究会
美濃民俗文化の会
美濃古墳文化研究会
霊山顕彰会岐阜県支部
地域文化研究所
岐阜県哺乳動物調査研究会
岐阜県超古代文化研究所
八幡町文化財保護協会
美濃文化財研究会
武儀農業改良普及センター
飛騨考古学会
日本美術刀剣新聞社
岩波書店
ぎょうせい
椎山閣出版
読群書類従完成会
東京美術
あかね書房
ナツメ出版企画
吉川弘文館

郡上史談会
書道心画院
北白川書房
西美濃わが街社
才能開発教育研究財団
清水商事株式会社

〔個人〕

宮崎 惇
美和隆治
川瀬春子
高田 晃
石樽 肇
高田 馨
深谷滋浩
鈴木玲之
安藤日出武
齋藤修啓
高橋俊示
糸魚川淳二
鹿野勘次
井上好章
脇田浩二
鳥居甚吾
林 賢治
遠藤祐伸
飯塚忠理
長畑 実
青木 舜
瀧 秀水
堀田昌義
石田明乘

以上

〔利用状況〕

1 入館者数

本年度は、入館者数84,833で前年に比べて19,185人29.2%の増加となった。これは、夏の特別展「恐竜時代」及び秋の特別展「水とまつり」が好評であったこと、また、急きょ開催した特別陳列「円空展」も好評であったことが大きな要因である。

また、開館日数は309日であり、1日平均の入館者数は275人であった。また、一日の入館者が最も多かった日は、9月12日で2,390人を数えた。月別の入館者数は右表のとおりである。団体入館者数をみると1,166人で、入館総数の約1.4%であった。月別では11月が229人で一番多く、団体入館者総数の19.6%を占めている。

春季特別展及び秋季特別展期間中の入館者数は下表のとおりである。入館総数は57,004人を数え、一日平均は606人であった。

月	小中高生	大学生	一般	計	開館日数	一日平均
4	1,594	25	1,935	3,554	26	137
5	3,474	75	4,077	7,626	26	293
6	962	113	2,368	3,443	26	132
7	4,621	118	5,366	10,105	27	374
8	11,399	159	11,603	23,161	26	891
9	4,488	88	5,727	10,303	26	396
10	5,372	74	3,542	8,988	28	321
11	2,843	117	5,363	8,323	26	320
12	430	8	707	1,145	23	50
1	901	21	1,257	2,179	23	95
2	730	30	2,089	2,849	25	114
3	1,057	64	2,036	3,157	27	117
計	37,871	892	46,070	84,833	309	275

特別展名	期間	小中高生	大学生	一般	計
恐竜時代	7/16~9/15	19,419	313	21,023	40,755
水とまつり	10/5~11/23	7,567	185	8,497	16,249
計	—	26,986	498	29,520	57,004

2 施設利用

今年度の講堂及び研修室等の利用者は、次のとおりであった。

〈講堂〉

4/17	岐阜県警察学校初任科生研修
4/27	岐阜県文楽・能保存振興協議会総会
5/11	岐阜県文化行政担当課長会議
5/29	岐阜県立中濃西高等学校理数科研修
5/30	岐阜県里山林整備ボランティアリーダー育成講座
6/5	岐阜県小中学校教育研究会技術家庭科研究部会
6/10	岐阜県高等学校教育研究会公民地歴部会総会
6/15	岐阜県高等学校特殊初任者教育センター研修
6/19	岐阜県高等学校教育研究会地理部会総会研究会
9/7	岐阜市中学校教頭会
10/30~11/3	岐阜県教育センター科学作品展
2/5	岐阜県中学校技術家庭科研究部会総会研究会
2/18	岐阜県小学校社会科研究会代議員会
3/11	岐阜野尻湖研究会

〈研修室〉

4/29	岐阜県哺乳動物調査研究会総会研修会
2/11	岐阜県哺乳動物調査研究会総会研修会

〈ハイビジョンホール〉

10/23	岐阜県森林文化大学（1回目）
11/20	岐阜県森林文化大学（2回目）

〔博物館関係団体〕

1 岐阜県博物館協会

岐阜県博物館協会は、「会員相互の連絡提携のもとに社会教育の健全な推進と文化の向上に寄与すること」を目的に、昭和41年に設立された。

公開講座（年4回）、機関紙発行（季刊）、会員研修会（年3回）等の諸活動をくり広げ、設立の目的に沿うように活動された。

平成11年3月現在、会員館園は142、個人会員は23名主な役員は次のとおり。

名誉会長…梶原拓 会長…浅野勇 副会長…青木允夫、土野守、遠藤祐神 理事長…松本五三 事務局は岐阜県博物館内にある。

〈主な事業〉

5/10	役員会及び通常総会
6/13	第80回公開講座
6/1	機関紙委員会
6/11	第43回会員研修会
7/8~9	東海地区博物館連絡協議会総会
7/18	第81回公開講座
7/31	機関紙「岐阜の博物館」第126号発行
9/9~10	第44回会員研修会
10/2	第82回公開講座
10/28~29	東海三県博物館協会交流研修会
10/31	機関紙「岐阜の博物館」第127号発行
11/15~16	全国博物館大会
11/17	第45回会員研修会
12/28	機関紙「岐阜の博物館」第128号発行
2/9	会員研修委員会
2/27	第83回公開講座
2/27	公開講座委員会
3/6	常任理事会
3/31	機関紙「岐阜の博物館」第129号発行

2 岐阜県博物館友の会

今年度は一般会員数456名、後援会員27口で昨年度に比べ、大幅な会員数減であった。しかし、会員個々の生涯学習活動への参加意欲は強く、岐阜県博物館への協力意識も旺盛である。

国内探訪の旅は3回行なった。

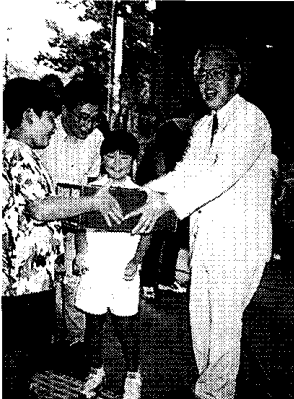
第1回(5月31日～6月1日)北九州の旅(有田、伊万里、平戸、ハウステンボス)。有田、伊万里では窯元を訪問し、土と炎の芸術作品の製作工程を見学した。また最終日のハウステンボスでは童心に返り一日を楽しんだ。参加者42名

第2回(9月19日)滋賀県の石山寺、信楽陶芸の森を探訪した。参加者86名

第3回(12月4日～5日)和歌山県の粉河寺、根来寺青洲の里、養翠園、三井寺、長保寺を探訪。参加者74名。いずれも日程の中に博物館員の歴史的背景を取り入れた解説を行ない、現地では専門家に解説を依頼した。いずれの探訪の旅も定員を超え、参加者からは多くの質問が出るなど有意義な探訪の旅になった。しかし、参加者の中にはより幅広く系統的な知識の上に立った研修を望む声があり、来年度以降の課題として残った。

今年度の探訪の旅は国内のみであったが、懸案の海外探訪の旅は「海外探訪の旅検討委員会」を設置し、3回にわたり検討を行なった。その結果、平成12年度には海外探訪の旅(中国・華北地方)を実施することになった。

夏の特別展「恐竜時代」は大盛況で、ショップの売り上げも過去最高額を記録した。入場者4万人目には友の会福田莞爾会長より記念品の贈呈を行なった。



文化講演会は三重大学名誉教授の入賀晋氏による「水辺の祭祀」の講演を、また、博物館講座「自分史を書いてみよう」を柳瀬道夫氏により3回にわたり行ない、多数の参加者を得て、盛況裏に終えることができた。

恒例になった、特別行事「七草がゆを食べよう」は、会員のボランティア活動として定着しており、岐阜放送「みの・ひだアイランド」でも取り上げられ、今年度も無病息災を願う人たちが賑わった。

また、円空展では写真集「円空さんとわたし」を再発行した。反響は大きく北は秋田県、南は大分県と全国各地

から写真集を求める依頼があった。

博物館の普及活動については、写真展のチラシの印刷や特別展の図録「恐竜時代」、「水とまつり」の発行、絶版になった図録、「川に生きる」「美濃山地の自然」の再発行を行なった。

来年度は、会員数の確保、探訪の旅の充実とともに博物館の特別展や講座、催し物への会員の積極的な参加を呼びかけ、「博物館事業の普及、会員相互の教養と親睦」を深め、「魅力ある友の会」、「誰でも気軽に参加できる友の会」を目指し、今年度の反省をもとに健全な運営、創意工夫ある企画を進めたい。

平成11年度の主な事業、行事は次の通りである。

1 会議

役員会	4月25日	総会	4月29日
役員会	10月24日	三役会	2月10日
海外探訪検討委員会	6/16, 8/24, 2/3		

2 研修事業

(1) 探訪の旅

有田・伊万里・平戸を訪ねて	5/31～6/1	42名
石山寺・信楽陶芸館を訪ねて	9/19	86名
和歌山の古寺を訪ねて	12/4～12/5	74名

(2) 文化講演会

「水辺の祭祀」	三重大学名誉教授	八賀晋先生
		10/20

3 会報発行

第59号～第62号	A4版	6頁	各350部
-----------	-----	----	-------

4 資料などの作成と頒布

(1) 特別展図録「恐竜時代」	2000部
「水とまつり」	1000部
(2) 図録の増刷「円空さんとわたし」	1000部
「美濃山地の自然」	500部
「川に生きる」	500部
(3) APS展チラシ作成	7000部

岐阜県博物館総合案内などの頒布

5 その他

(1) 博物館との共催事業の実施

特別行事	「百年公園・博物館を写生しよう」	
	「岐阜の化石ゼミナール」	
	「七草がゆを食べよう」	
たのしい博物館	「火起こし器を作ろう」	
	「クイズで探検!! 博物館」	2回
	「化石をつくろう」	3回
	「恐竜ナイトツアー」	2回

博物館講座

「自分史を書いてみよう」(3回)	柳瀬道夫先生
	6/6, 8/29, 9/23

「博物館だより」増刷 68号500部, 69,70号各350部

(2) 会員入館料の補助と寄贈

特別展、常設館入館料補助
図書及び書架の寄贈

Ⅳ 利用案内 (平成11年度)

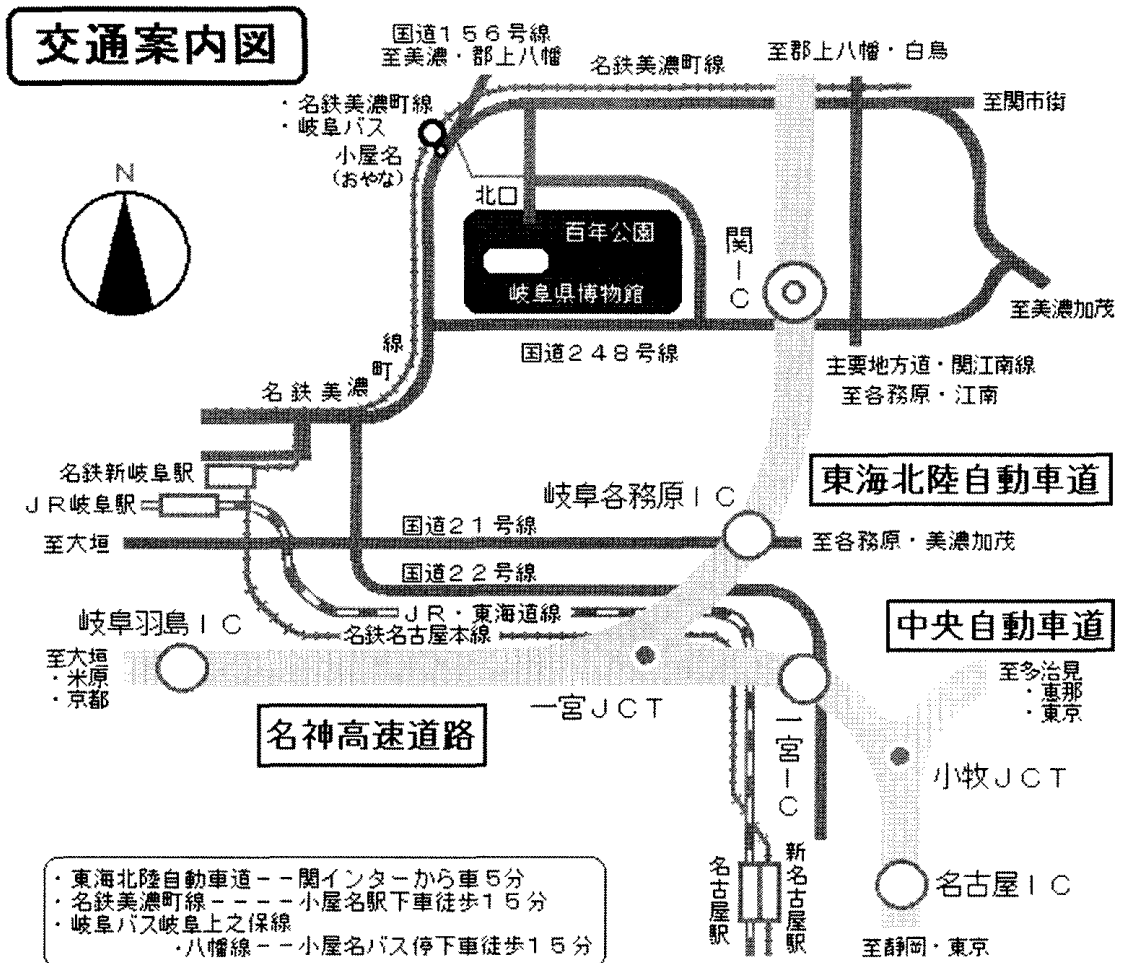
- 開館時間 4月1日～10月31日 9時～16時30分
11月1日～3月31日 9時30分～16時30分
(入館は16時まで)

- 入館料

区分	個人	団体(20人以上)
一般	320円	260円
大学生	110円	50円
小・中・高	無料	無料

※特別展開催中は入館料がかわります。

- 休館日 月曜日(月曜日が祝日にあたるときは翌日)
年末年始(12月28日～1月3日)
- 駐車場 博物館には駐車場がありませんので、百年公園の駐車場をご利用ください。
駐車料金…普通(軽)自動車300円、バス820円
- 交通 名鉄美濃町線 小屋名駅下車 徒歩15分
岐阜バス 小屋名下車 徒歩15分
自家用車をご利用の場合は、百年公園北口からお入り下さい。



〒501-3941 岐阜県関市小屋名字小洞1989 ☎(0575) 28-3111 (代表) FAX (0575) 28-3110